

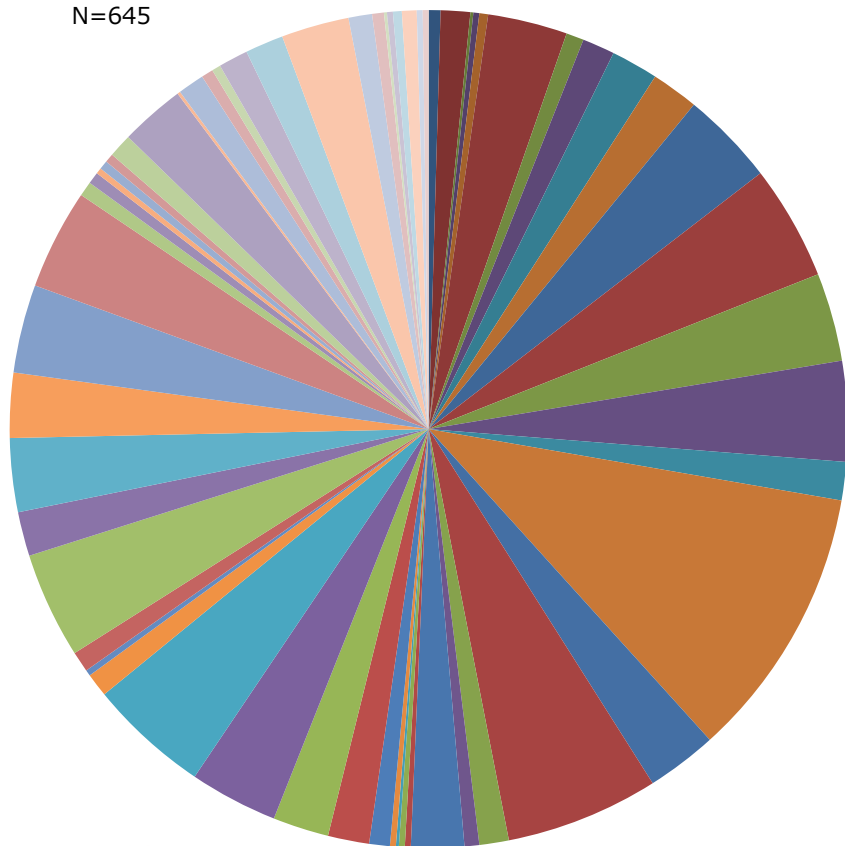
乳児家庭全戸訪問事業 についての実態調査

—産後うつゼロの社会を目指して—



1-1 : こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）を利用したことがある地域をすべてお選びください。

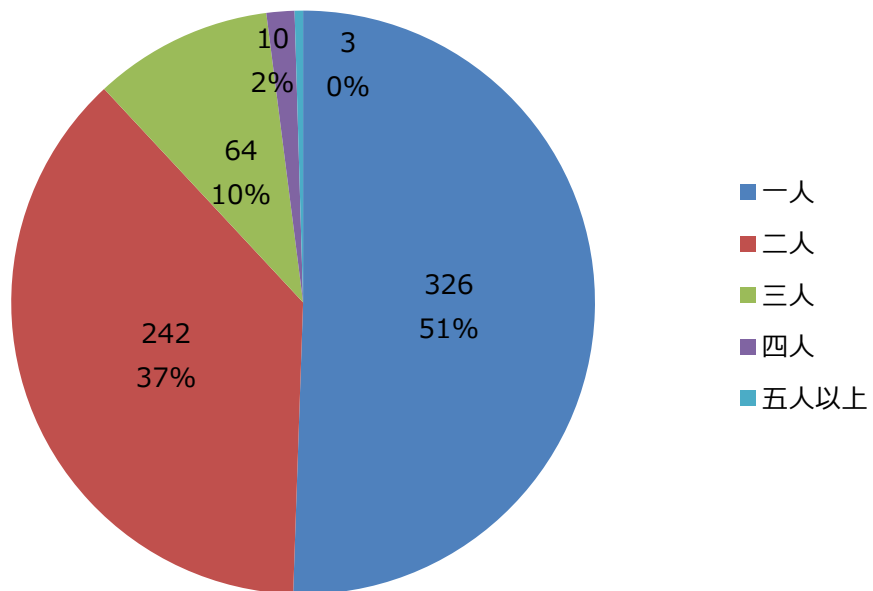
N=645



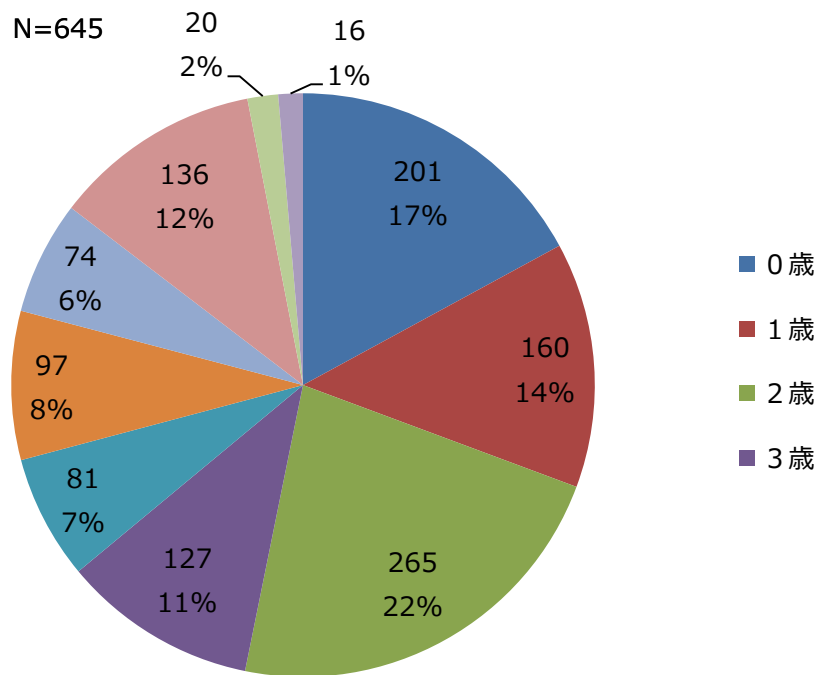
- 北海道(札幌市以外)
- 青森県
- 宮城県(仙台市以外)
- 秋田県
- 福島県
- 栃木県
- 埼玉県(さいたま市以外)
- 千葉県(千葉市以外)
- 東京都(23区以外)
- 神奈川県(横浜・川崎・相模原以外)
- 川崎市
- 新潟県(新潟市以外)
- 富山県
- 福井県
- 長野県
- 静岡県(静岡市・浜松市以外)
- 浜松市
- 名古屋市
- 滋賀県
- 京都市
- 大阪市
- 兵庫県(神戸市以外)
- 奈良県
- 鳥取県
- 岡山県(岡山市以外)
- 広島県(広島市以外)
- 山口県
- 香川県
- 高知県
- 北九州市
- 佐賀県
- 熊本県(熊本市以外)
- 大分県
- 鹿児島県
- 札幌市
- 岩手県
- 仙台市
- 山形県
- 茨城県
- 群馬県
- さいたま市
- 千葉市
- 東京都23区
- 横浜市
- 相模原市
- 新潟市
- 石川県
- 山梨県
- 岐阜県
- 静岡市
- 愛知県(名古屋市以外)
- 三重県
- 京都府(京都市以外)
- 大阪府(大阪市・堺市以外)
- 堺市
- 神戸市
- 和歌山県
- 島根県
- 岡山市
- 広島市
- 徳島県
- 愛媛県
- 福岡県(北九州市・福岡市以外)
- 福岡市
- 長崎県
- 熊本市
- 宮崎県
- 沖縄県

1-2 : お子さんの人数をお答えください

N=645

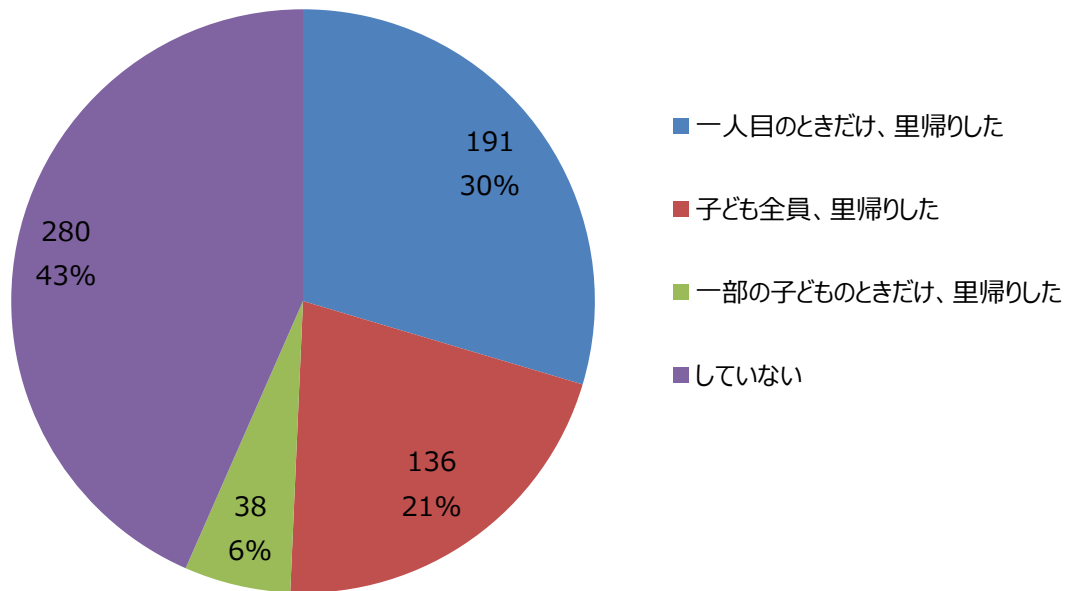


1-3 : お子さんの年齢をお答えください (すべてのお子さん)



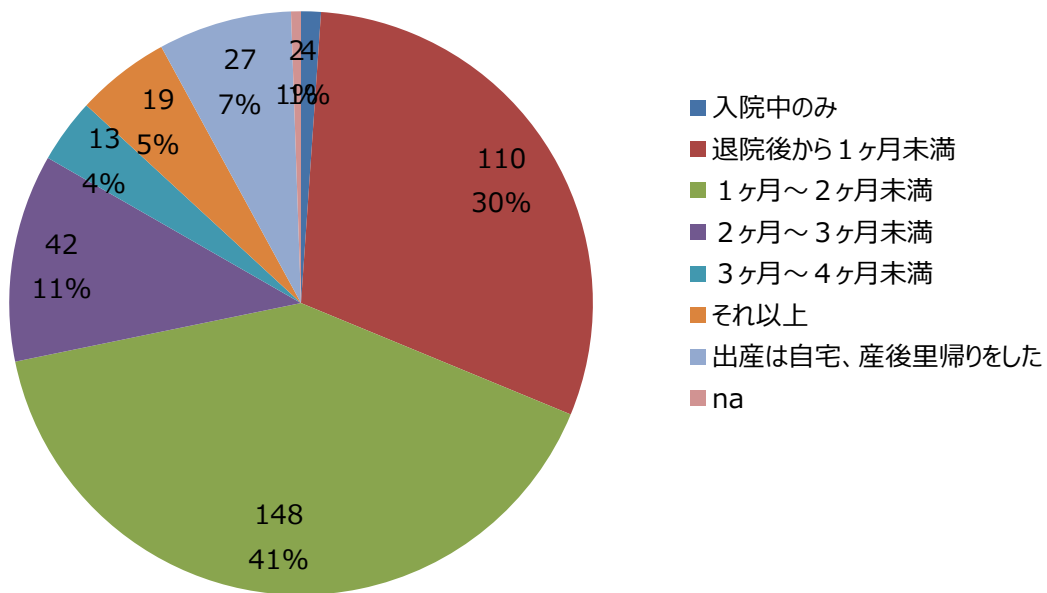
1-4 : 里帰り出産はしましたか？

N=645



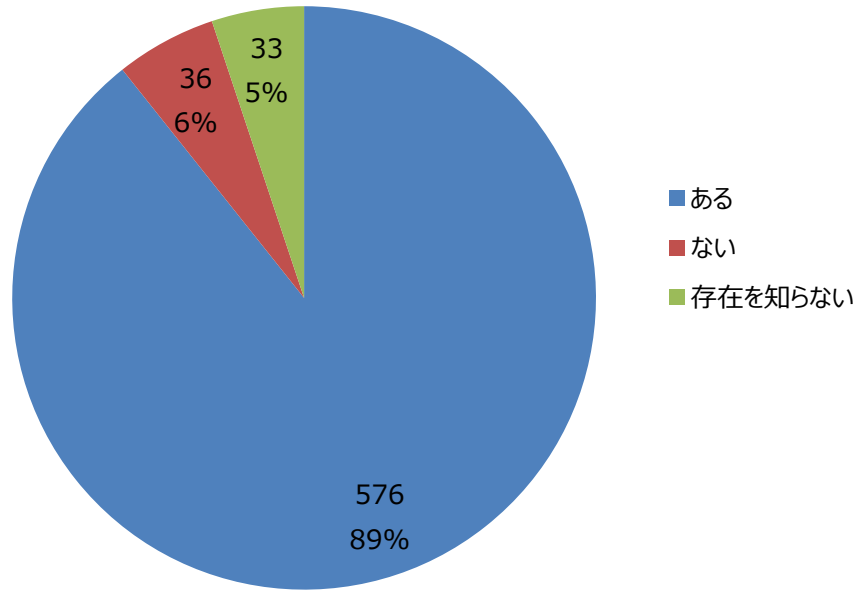
1-5 : 里帰りした方は、いつまでしましたか？ (複数のお子さんがいらっしゃる方は、平均でお答えください)

N=365



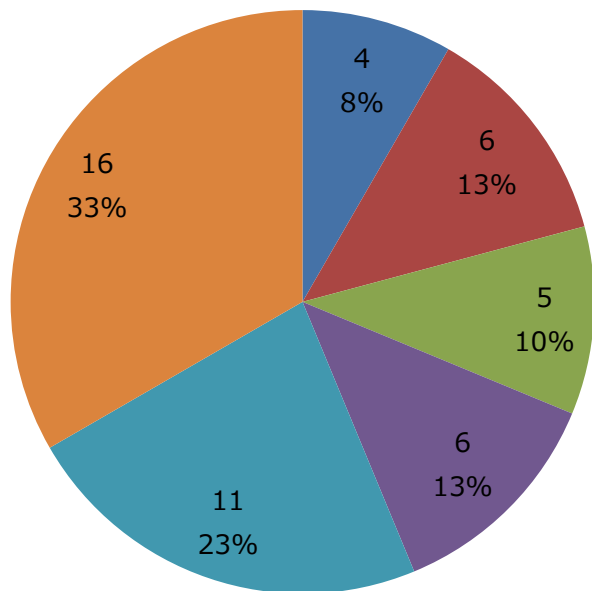
2 : こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）を利用したことがありますか？

N=645



3-1 : 利用しなかった理由をお選びください（複数回答可）

N=36

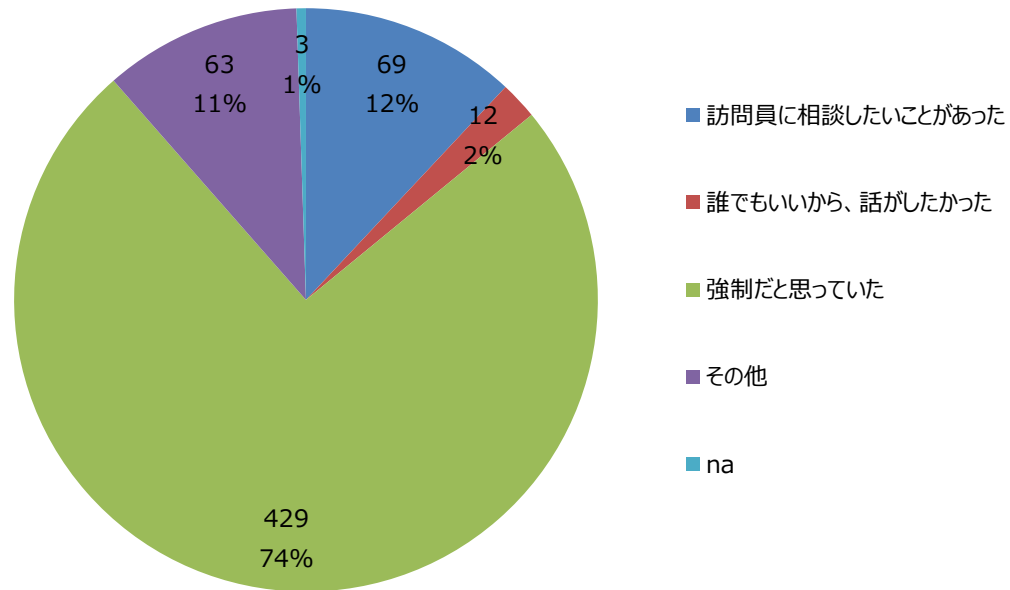


- 産後すぐで化粧をしていないから、誰にも会いたくない
- 家の掃除ができていないから、誰かに来てほしくない
- 見ず知らずの人が家に上がるのがイヤ
- 里帰り期間が長く、自宅にいなかった
- 訪問員に話す悩みなどが無かった
- Other

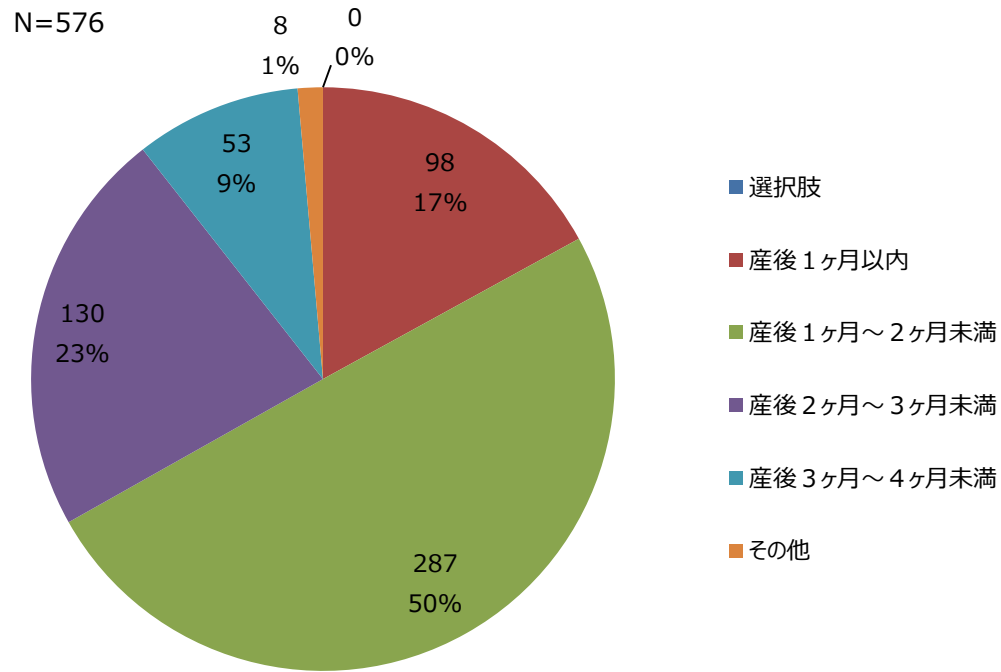
Other内訳	人数
1人目の時に、町内会費の請求に来た人が「私が訪問もしてるんだけど、この家には来てない」と言っていたのですが、なんとなくその雰囲気がイヤで2人目はあの人 cameたらやだなあと思って申し込まなかった。	1
子育ては大変だったが、みんなが経験する事、大変なのは当たり前だと思いい、体力的にも精神的にも辛かったが、当時は 特別相談する事柄が無いと思ったから。	1
実家の母同居しているため	1
知らなかった、よく知らない	2
訪問員から嫌なことを言われた等の話を聞いたから。	1
忙しいのにわざわざ予定を合わせたり連絡をするのが面倒	1
利用してかどうか自体覚えていない	1
利用するつもりでお願いしていたが、実際産んでみると日々の余裕がなく、誰にも会いたくなかった	1
来なかった	7
2人目の時、女性2人で訪問された方が見えましたが、私が体調を崩して出られず、ちょうど来ていた両親が出ました。でも、その後日にちを変えて来ると言ハガキを送ったが結局訪問がなかった。	(1)
市区町村から連絡がくると聞いていたが来なかった。	(1)
訪問員からの連絡、市からの連絡もなく、市に連絡したが対応が悪く不信感しか無かった。新生児への訪問を担当する人間に税金から賃金が支払われているなら	(1)
訪問員からの連絡もなかった	(1)
利用したかったが来てくれなかった	(1)
利用したかったが連絡が無かった（取れなかった?）	(1)

4-1 : 利用した理由をお選びください

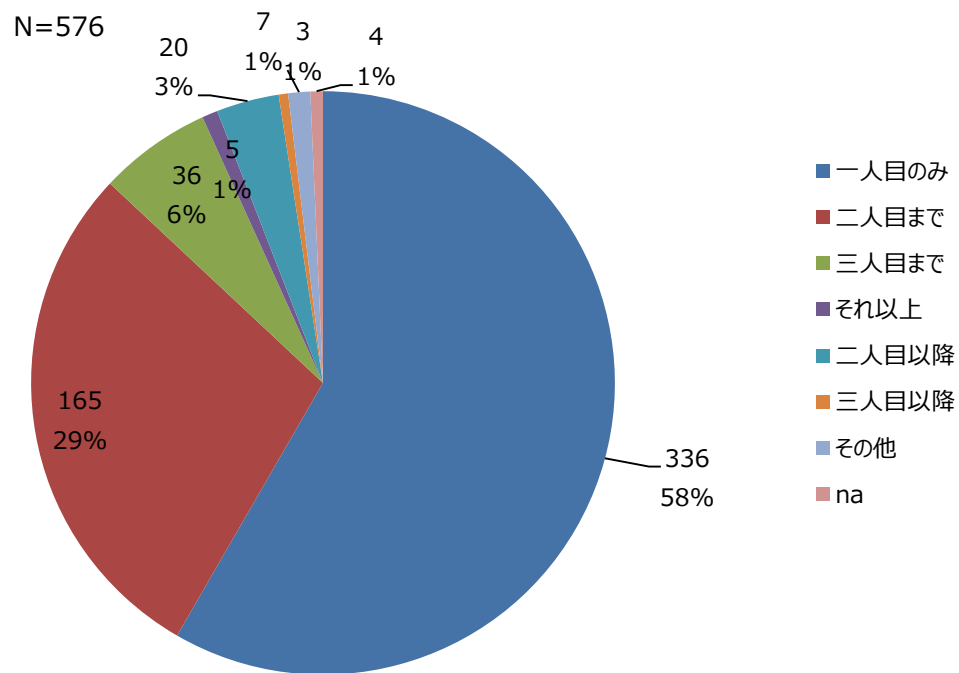
N=576



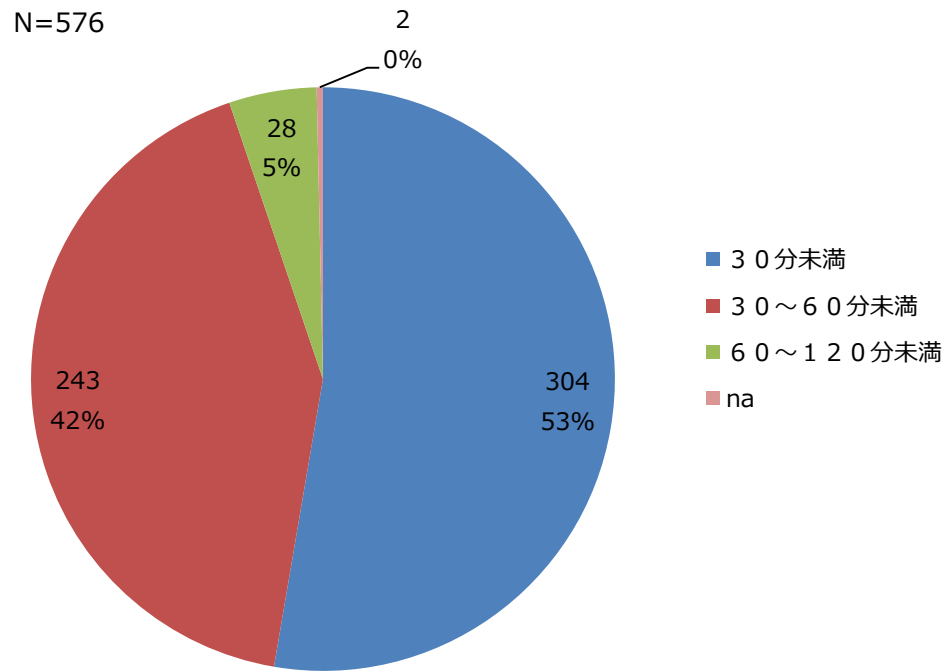
4-2 : 利用した時期をお選びください



4-3 : 何人目のお子さんまで、または何人目からのお子さんで利用しましたか？

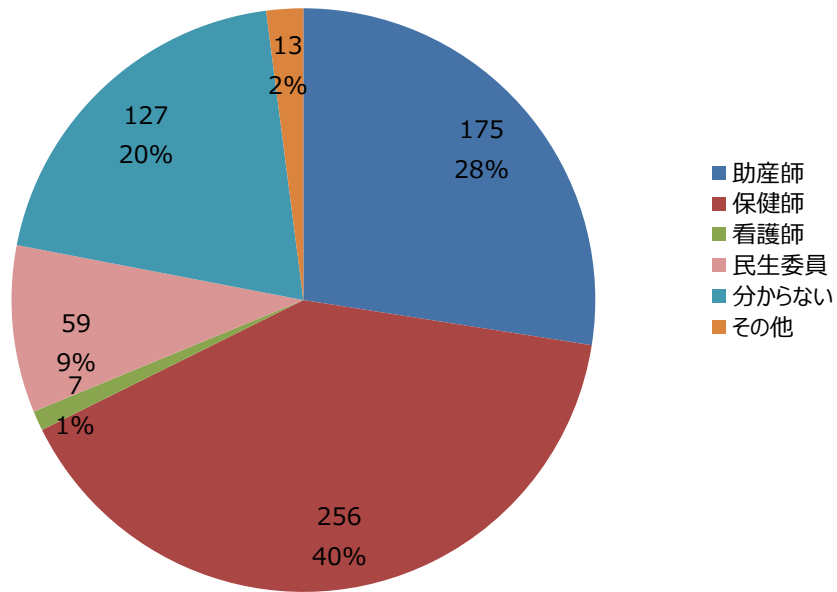


4-4 : 訪問員の滞在時間はどのくらいでしたか？



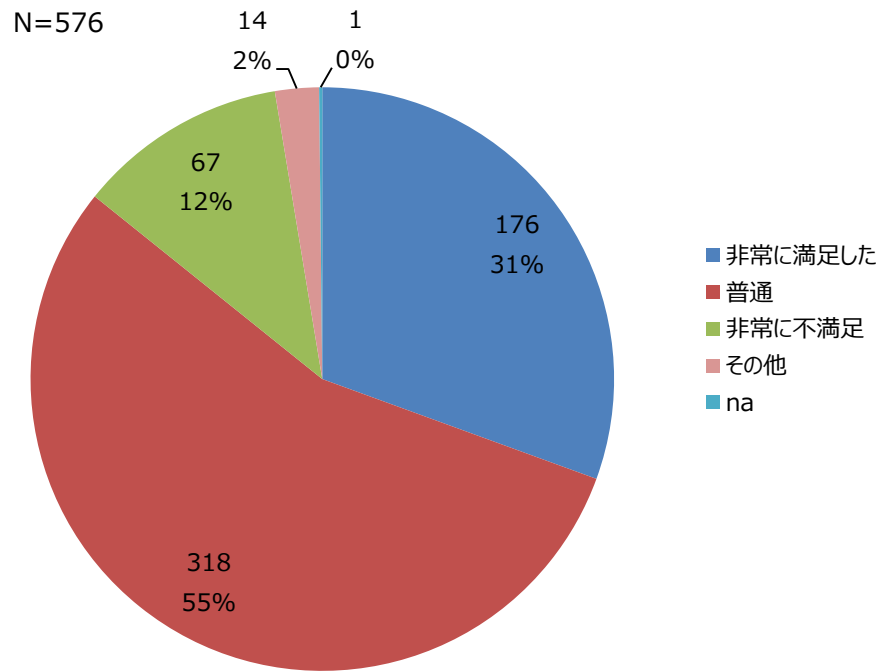
4-5 : 訪問員の立場（肩書）を教えてください

N=576



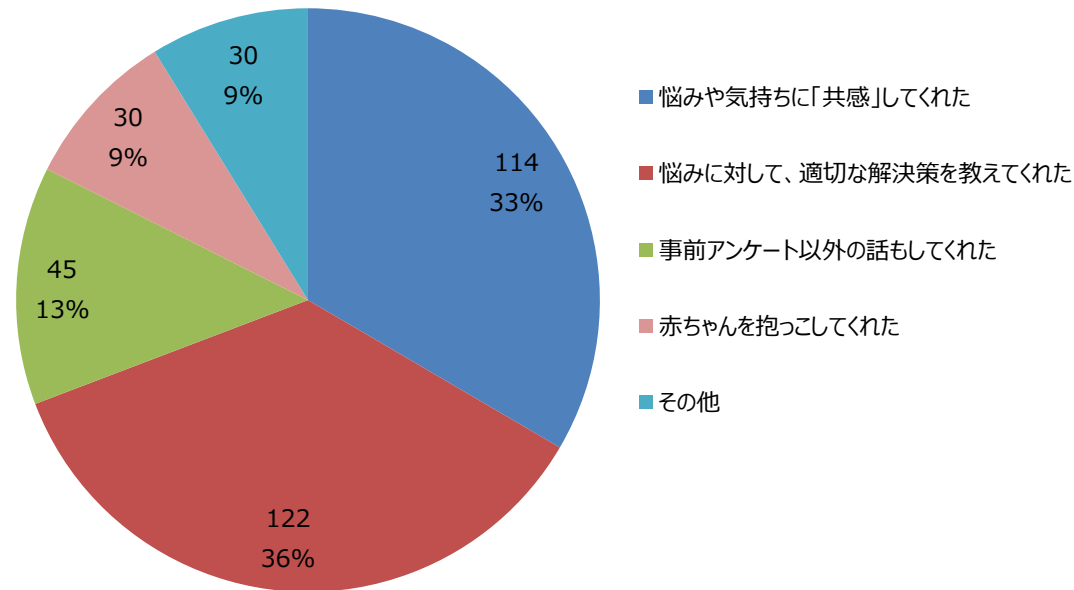
その他内訳	人数
忘れました。	1
保育士（支援センター職員）	1
市役所職員	2
ボランティア	2
保育士	2
保育学科の大学生	1
母子保健推進員	2
市の子育てサポーター	1
生活保健委員	1

4-6 : 訪問に満足しましたか？

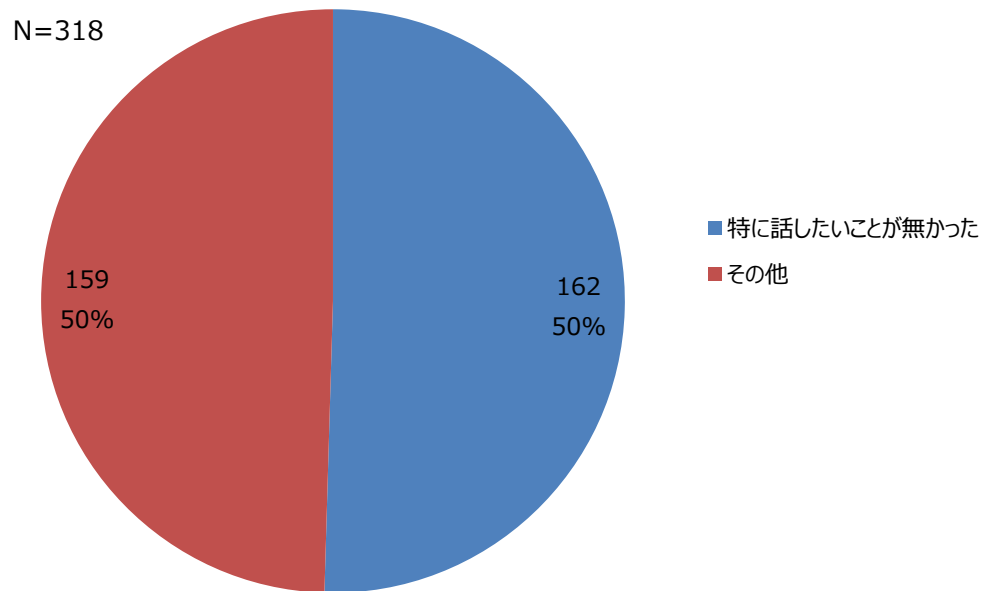


4-6-1 : 非常に満足した方、満足した理由を教えてください。（複数回答可）

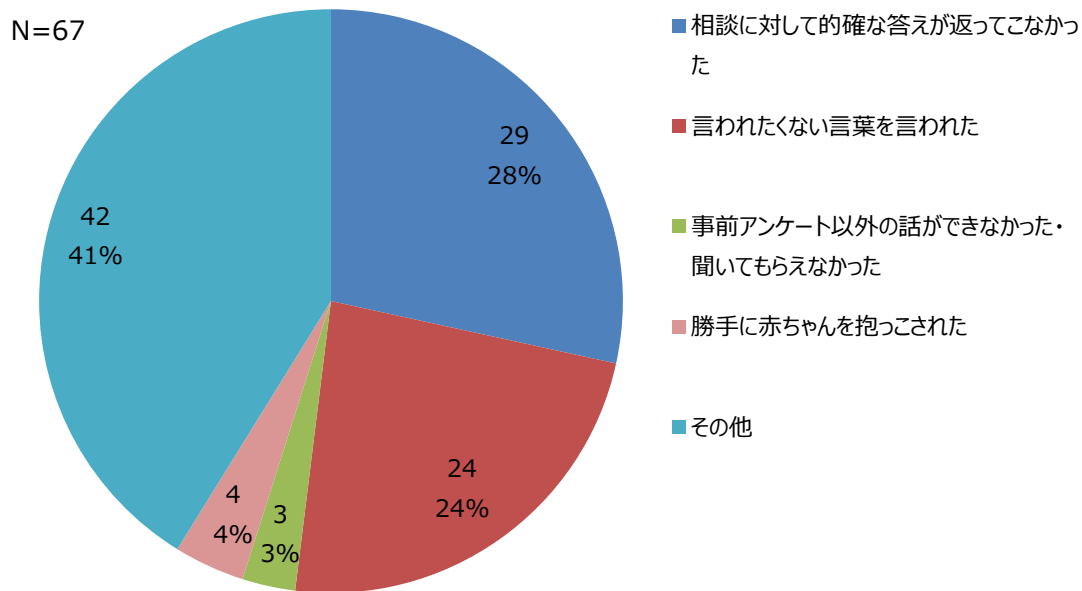
N=176



4-6-2 : 普通だった方、理由を教えてください。(複数回答可)

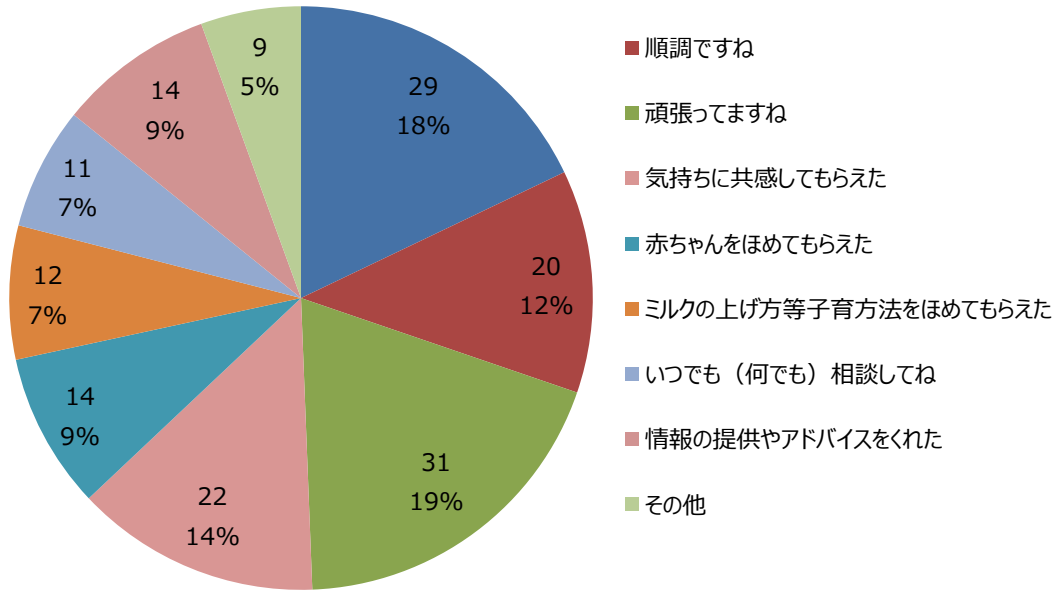


4-6-3 : 不満足だった方、理由を教えてください。(複数回答可)



4-6-4 : 訪問員に言われた言葉で、嬉しかった言葉があれば教えてください。

N=576



その他内訳

たまたま、近所の知り合いの方だったため、ホッとしました。頑張ってるね！といわれて、なんか嬉しかった

あまり子育てに対しての不安もなく、保健師さんも良い雰囲気だったので、正直、こんなもんだよな、という印象で終わってます。

2人目と3人目が同じ地域在住だったところ、同じ訪問員の方で、前回の様子も覚えてくれていたこと

長くやっておられる民生委員さんで「（夫を）小さい頃から知っているよ」と声をかけてもらった。

（1人目と2人目の時に来てくれた保健師さんが同じ方だったのですが）お兄ちゃんが可愛がってくれている感じがしますねー、と言ってくださいました。

体調はどう？と気に掛けてくれている言葉だけで救われた

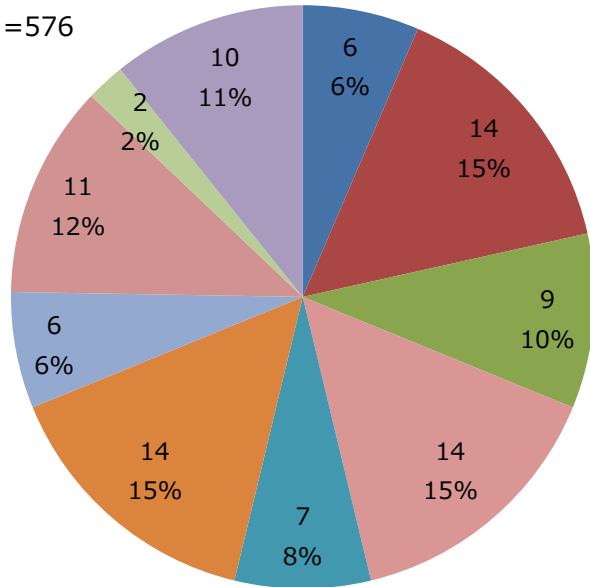
家事はしなくていいので、子供と一緒に寝起きしてください。

お母さんがにこにこ元氣でいることが赤ちゃんにとって一番なんだから、産後間もない今は家事なんて頑張らないのよ

お母さんが明るくていいわ

4-6-5 : 訪問員に言われた言葉で、傷ついた・嫌だった言葉があれば教えてください。

N=576



- 頑張らないとね、しっかりしないと
- 母乳・ミルクについて否定された
- 子供の成長、常態について
- 相談したのに答えが不明確
- 育てやすいでしょう、大丈夫でしょう
- 自分の話や関係のない話ばかりだったか
- 他に相談出来る人がいていい
- 態度が悪かった
- もっと子供を産むように言われた
- その他

その他内訳

訪問員から何か言われたということはないが、産後すぐに新生児訪問のはがきを出したのに一向に連絡が来ず、結局対象の4ヶ月を過ぎてからやっとの訪問だった。

初めての出産で里帰りも実家からの手伝いもなく、0～1ヶ月の時期がものすごく辛くてしんどくて、訪問があったら相談しようと思っていたのにそれができず、「今頃来られても意味ない」と思った。

医師ではない立場の方であって乳児の健康状態の善し悪しは個人の意見になりがちなのでは？（このくらいなら、大丈夫だよー）とか。

訪問目的の一つが「乳児の虐待への警鐘、又は監視」という意味の会話があった為

産後お腹がまた出ていたので、2人目がいるのかと言われた。

訪問員が、家に来ることが嫌だった

きてくれたときにリビングで寝てたから今赤ちゃんは？の問いに寝ている、といったら『起こしてここに（玄関）に連れてきて。』と。生存確認、虐待確認、のウワサは本当だと思った。

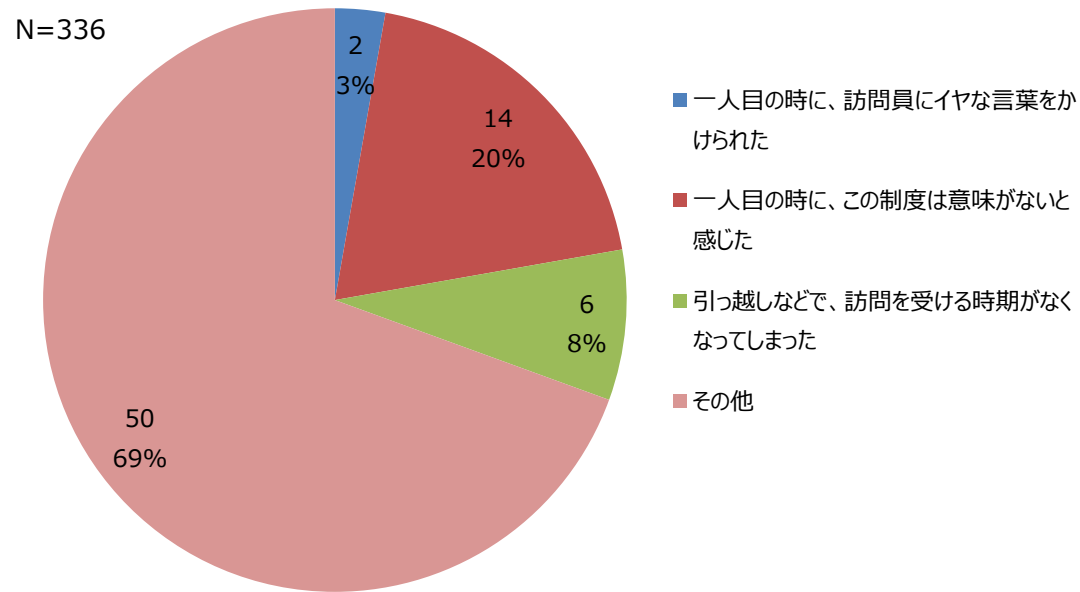
産後うつ傾向があると言われました。

訪問の際には特になし。市の集まり3ヶ月の時は、イライラしたり傷付いたり泣きながら帰った

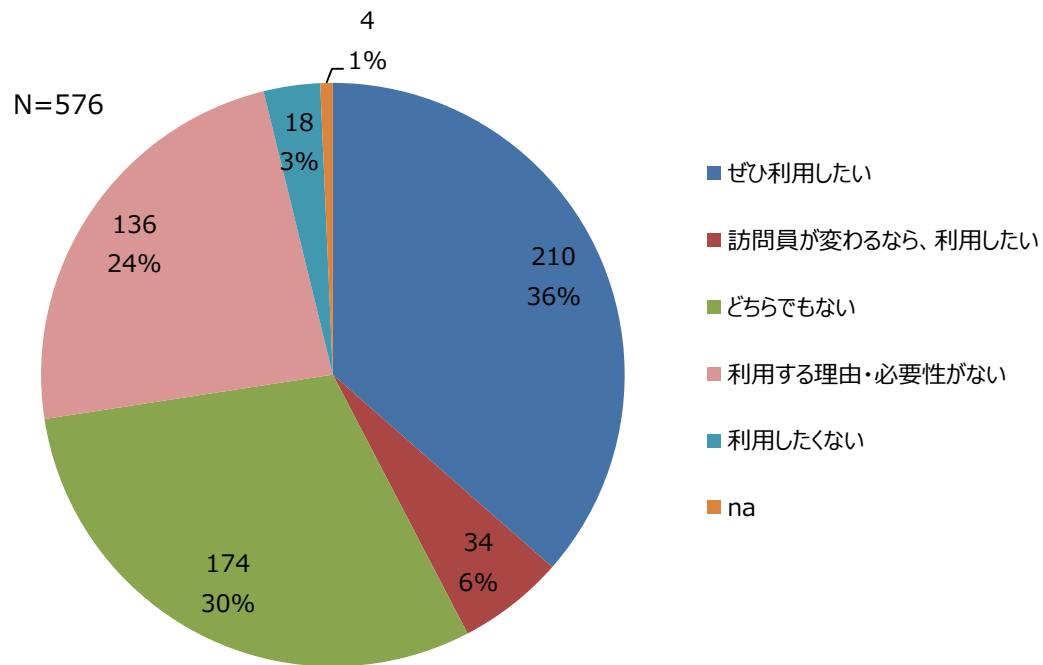
お茶を用意しといたのでお礼くらい言って飲んでほしかった。

覚えていない

4-7 : 一人目は利用したが、それ以降、利用しなかった方、理由を教えてください。

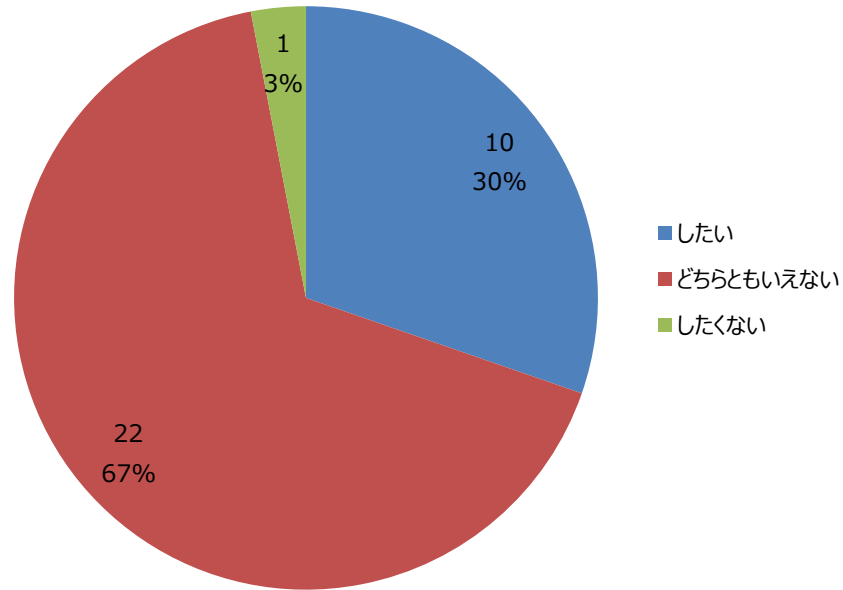


4-8 : もしあなたがもう一度、出産をしたらこの事業を利用したいですか？



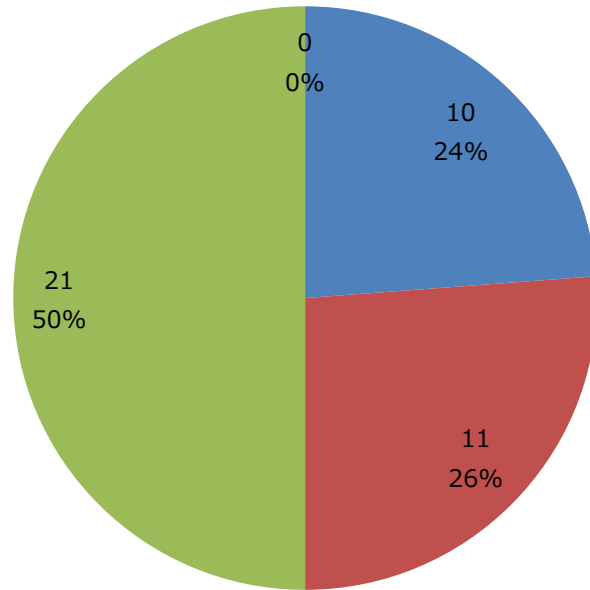
5-1 : もし、知っていたらこの事業を利用したいですか？

N=33



5-2 : どのような告知方法でしたら、この事業を知ることが出来たと思いますか？

N=33

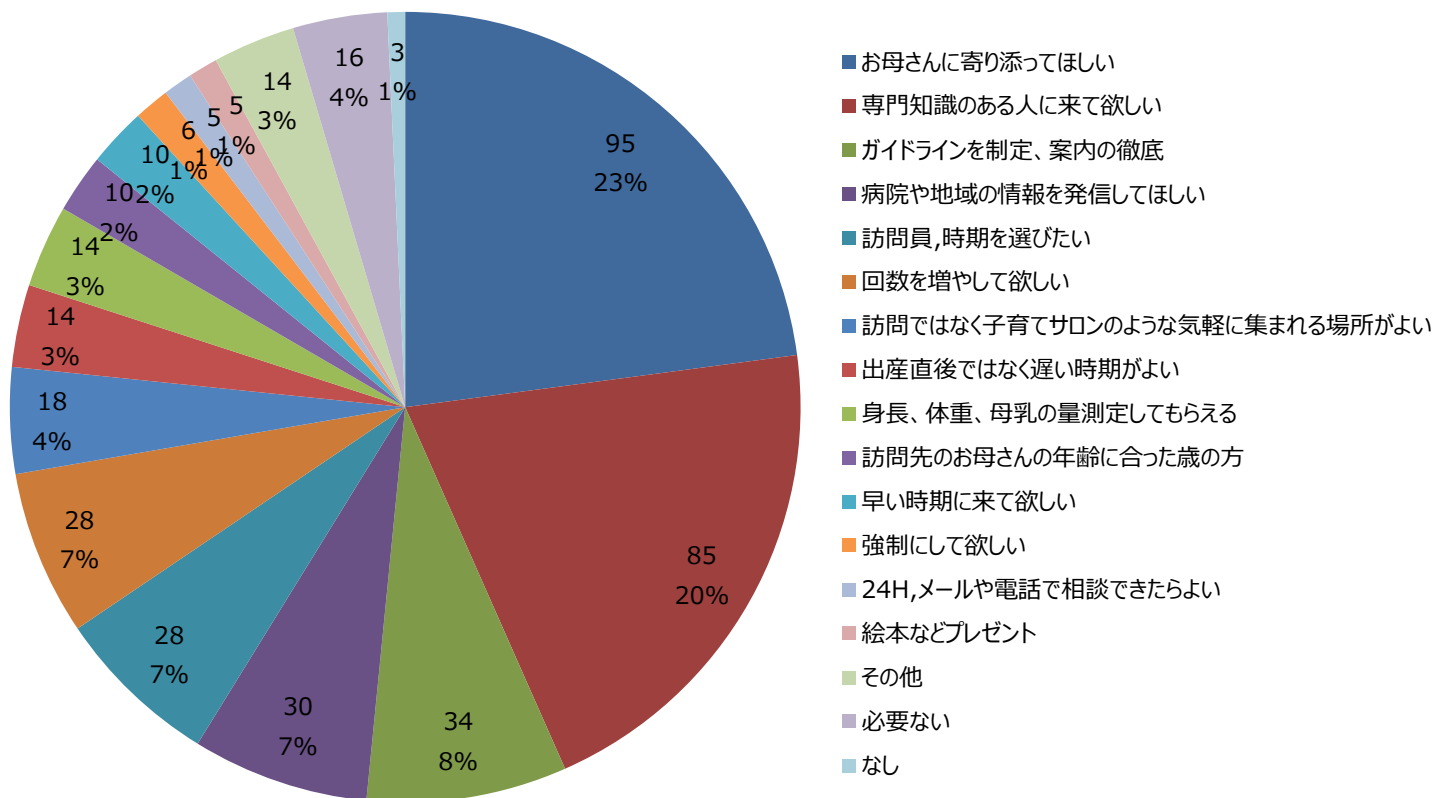


- LINE@などの、一般的なアプリを利用した告知
- 各地方自治体オリジナルのアプリを利用した告知
- ポストへのチラシ投函
- その他

その他内訳	人数
広報	1
産院でのハウツー本、母親学級、母子手帳交付時か、出生届時	1
母子手帳発行時にチラシを配る	1
郵送など、確実に本人に渡される方法	1
病院からの案内	3
産婦人科での広報	(1)
病院からの案内	(1)
病院で	(1)

6 : こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）が、もっと〇〇だったらいいのに！ 〇〇などところは全国に広がってほしい！など、ご意見をお聞かせください。

N=645



6 : こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）が、もっと〇〇だったらいいのに！ 〇〇なところは全国に広がってほしい！など、ご意見をお聞かせください。

その他内訳
若い方、40代の方
虐待監視の強制作業だと思っていた。2人目の時に予定時間から2時間遅れてきたので社会的に問題ない行動をとる人が来てほしいと思う。
変な助産師が、来なければいいのに。開業助産師がこうあるべきを押し付けて、自分の講座などの勧誘をして鬱状態に追い込まれた友人がいます。真っ当な方もいるのを知ってます。
パパと一緒に受けて、パパの自覚を持つような声かけをしてくれたらいい。ママが頑張らないとねだと1人でやっていくのが普通なんだと思った。
パパと一緒に受けて、パパの自覚を持つような声かけをしてくれたらいい。ママが頑張らないとねだと1人でやっていくのが普通なんだと思った。
希望の日より、来るまで日にちがかかったのもっと助産師さんを増やしてほしい！
今は、近所の方の一回だけの訪問
利用してはいないですが、疲れて自分も部屋も見せれない状態だと思うので、そんな不安を払拭出来たらいいですね
全国に広がって欲しい。
本当に欲だけ言えば、1時間でも託児を兼ねていたら嬉しいなあと思います。
気軽に利用できると
全国に広がって欲しい！（全国あると思っていました…）
予定の日の2時間前に連絡がきて、ご家族がインフルだから日を変えと欲しいと。出産まもない中、幼稚園の送迎、買い物など都合をつけながらしていたのに2時間前に行けません、しかも当たり前のような感じで軽くごめんくださいと言われてただけですごくストレスを感じました。掃除もままならないなか、他人が自宅に入るため、それなりに掃除もしたり気を使うし、だからといって、体重身長をはかり、ききたいこともあやふやな回答。疲れただけでなんのためにやるのかわかりませんでした。来れないなら他の方をよこすなど対応はあったはず。連絡も訪問者個人の携帯からきたのも不信感いっぱいでした。
市民でないと、受けられないので、里帰り期間が長い人は利用しにくいだろうなと思った。

4-6-4 : 訪問員に言われた言葉で、嬉しかった言葉があれば教えてください。

- (1人目と2人目の時に来てくれた保健師さんが同じ方だったのですが)お兄ちゃんが可愛がってくれている感じがしますねー、と教えてくださいました。
- (子どもが)順調に大きくなってますね。
- (里帰りで多大なストレスを受けたことについて)「ここまでよくがんばったのねー」
- 「大丈夫ですよ！」って沢山言われたのがよく覚えています
- 『分かるわ』と共感してもらえた
- 1人で良く頑張ったね。(転勤先で両親もおらず、頼れる人が身近にいない中での子育てだった為)
- 1人目のとき共働きがとても辛く、2人目の育休中に復帰の葛藤がすごくあったときに訪問員さんの経験談も交えながら自分の気持ちに寄り添ってくれた。
- 1人目も2人目も同じ訪問員さんだったのですが、下の子の訪問時に上の子の時のことを覚えてくれていて、「お姉ちゃんに似てるね～。そっくり！可愛いね～」と言ってくれたことや、「お母さんは疲れてない？頑張りすぎたらダメよ。2人いたら大変よね。」と気づかせてくれた言葉が嬉しかったです。
- “①娘の孫が同じくらいで、大変そうにしている。色々大変だけど、体を大切にしてください。②自分も昔 同じくらいの年齢差で、3人の子育てをして、上の子が良かれと思ってやった危険なことがいくつかあった。(具体例)悪気なく危ないこともあるから、見てるのも本当に大変だけどちょっと気にしてみてね。”
- 2人目と3人目が同じ地域在住だったところ、同じ訪問員の方で、前回の様子も覚えてくれていたこと
- あかちゃんのことを、よく見ているね、無理しないでね、など。
- あなたのやり方で育てたらいいのよ
- あまり子育てに対しての不安もなく、保健師さんも良い雰囲気だったので、正直、こんなもんだよな、という印象で終わってます。
- いいお顔しているね、元気に過ごしているんだね、お顔見ればわかるよ！
- いつでも相談して下さい。
- いつでも相談にのりますよ
- いつでも保健センターに遊びに来て下さいと言ってくれた。(体重を計ったら出来るので)
- お母さんがにこにこ元気でいることが赤ちゃんにとって一番なんだから、産後間もない今は家事なんて頑張らないのよ
- お母さんが明るくていいわ
- お母さん頑張ってますよ。だから休んで下さい。
- かわいいですね。2番目の子だから、もうお母さん大丈夫ですね。
- かわいい赤ちゃんですね
- きちんとやっていますね。
- このままで大丈夫ですよ！と、そんな優しい一言で、ホッとしました。
- この子は癒し系だねえ
- この赤ちゃん、とても満たされていて幸せな表情しているよ
- すごく頑張ってますね
- すごく順調。なにも心配はいりませんよ。
- そうなんですと教えてくださいました

- たまたま、近所の知り合いの方だったため、ホッとした。頑張ってるね！といわれて、なんか嬉しかった
- たまたま来た方が、出産した病院の助産師さんで、わたしのことを覚えていてくれたこと。入院中は母乳について悩んでいたの、出るようになってよかったですねと言われて嬉しかった。
- ちゃんと育ててるよ。大丈夫よ。
- ちゃんと体重が増えてますよ。お母さん、頑張ってますね。
- ちゃんと大きくなってるねー
- どういう言葉だったかハッキリ覚えていませんが、初めての育児で不安だらけだったのが、少し安心でき、自分のペースで頑張っていこうと思えました。
- ママすごく頑張ってるよ。いつも赤ちゃんのこと考えて一生懸命育ててるよね。
- ママの仕事をするって一番大変！それを毎日やっているんだからスゴイ！
- ママ頑張ってるよ、間違っていないよ
- まんまるで可愛いね。
- みんなそうだよ(悩んでるのは自分だけではないと思えた)
- みんな平気そうな顔で子育てしているように見えるけど、みんな同じで、みんな悩んでるから、自分だけが！なんて、思わないでくださいね。
- もうママってわかって。安心してるとですね。順調ですね。
- よくがんばっているね
- よくがんばってますね！
- よく育てていますよ
- よく頑張っていますね！
- よく頑張ってますよ。後は旦那に私を支えて家事育児に関わってくれるように伝えましょうかと言ってくれたこと。
- よく反応するし、健やか。お母さん、よく話しかけてるからね。いいお母さんのところに来たのね。
- 一人で頑張らなくても大丈夫ですからね。〇〇へ遊びにきてくださいね。
- 一人目の時、転勤先で友達のいなかった私に地域の子育て広場を教えてくれた。気のいい人がいるから～と自分の好きなお店を紹介してくれて、話し相手がいますぐに出来るようにしてくれた。
- 穏やかな子ね
- 何でも相談してね。
- 可愛いですね
- 可愛い赤ちゃんだね
- 家事はしなくていいので、子供と一緒に寝起きしてください。
- “家庭の事情などを汲み取って、「お母さんひとりじゃ大変でしょう」と共感してくれた。こちらの職種(医療福祉職)にもきちんと配慮(「専門でいらっしゃるからご存知かもしれませんが…」等)した上で、「お母さんばかりに負担がかからないようにしてね」と利用できるサービスを案内してくれた。”
- 覚えていない
- 覚えていない。涙
- 覚えていないが、物腰も穏やかでリフレッシュになりました。
- 覚えていません。
- 完全母乳じゃなきゃだめなんてことないのよ～。ママも赤ちゃんも無理せずに赤ちゃんが大きくなれるのが一番よ！
- 完母、布おむつだったので、おしりも荒れてなくて、頑張ってるねーすくすく大きくなってると言ってもらえたこと

- 完母、布おむつだったので、おしりも荒れてなくて、頑張ってるねーすくすく大きくなってると言ってもらえたこと
- 頑張っていますね
- “頑張ってますね元気に育ってますね”
- 頑張ってますね。順調に育っていますよ
- 頑張ってるから、頑張りすぎないでいいのよ。
- 頑張ってるから大丈夫
- 頑張ってるね、と声をかけていただいて泣きそうになりました、すごく嬉しくて肩の力が抜けました。
- 頑張ってるね、体重増えてるよ
- 頑張ってるね。
- 頑張ってるよ。毎日お疲れ様。
- 頑張らなくていい
- 寄り添ってくれる言葉
- 気にしすぎなくて大丈夫
- 記憶が曖昧で覚えていませんが話を聞いてもらえたことで気が楽になりました。
- 疑問に思っていたことすべてに答えてくれた
- 近くに図書館があるよ、という、地元情報を教えてもらったこと。
- 具体的な言葉は思い出せませんが、不安を話して、(不安や心身の不調は)今の時期だけ、永遠に続くのではないからと言われてなんだかホッとしたのを覚えています。
- 元気に大きくなってますね。
- 今のままで大丈夫と励ましの言葉を頂いた
- 今の月齢では授乳が頻回なのが普通です。
- 根拠なく、ではなく、きちんと理由を示して誉めて下さった
- 混合栄養だったが、母乳量が少なく悩んでいて、完ミにした方がいいか相談したら、いつまで母乳をあげても、いつやめてもいいのよ。と言ってもらえて安心した。
- 雑談などを交えて話しやすい空気を作ってくれた後、旦那さんへの不満や愚痴ある？と聞いてくれて、当時育児より旦那への不満が募っていたため、共感してもらい、他の家の話を聞いて少し楽になった。
- 産後3週間頃で授乳なども軌道に乗っておらず、体重増加なども問題ないか不安ばかりだったので、専門家から「順調ですよ」と言ってもらえたこと自体がとても安心できた。また、低体重で生まれたこともあって母乳の直接授乳が出来ていなかったのだが、色々と解決策を提案してくれて、不安や心配に寄り添ってもらえて嬉しかった。
- 産後とは思えないほど頭の回転がいいですね
- 産後の体調や過ごし方、つらい事はないかなど、赤ちゃんだけでなく母親の事を気にかける声をかけてくれた。
- 子どもが凄く大きくて悩んでいたが、理由はないが「すくすく大きくなってるかLINE大丈夫ですよ」と言われた。
- 子どものことを見て、愛情いっぱいもらっているとされたこと。
- 子どもを見ながら「かわいいね」。単純だが、やっぱり子どもを褒められるのはとても嬉しいし、自分もありのままの子どものかわいさを改めて実感できた。
- 子育てサロンや保育園の開放日など赤ちゃんを連れて外に出られる場所の色々な情報を教えてくれた。
- 子育てをねぎらってくれたこと
- 子供が元気でよく育っている

- 子供の寝転び遊びを教えてもらって助かった
- 子供の発達がしっかりしている、初めてだけど落ち着いて子育て出来ている。
- 支援センターなどの情報を教えてくれた
- 私も、いっしょだったよ。
- 順調ですね。
- 順調ですね。大丈夫ですよ。
- 順調に育ってますね。お母さん頑張ってますね。
- 順調に成長してますね
- 女性の思考は不安がつきものだから仕方がない
- 上の子の発達が心配だったのですが、下の子の赤ちゃん訪問の際に上の子の様子を見て「コミュニケーションも取れてるし問題なく見えますよ」と言ってもらえ安心できました。
- 上手に育てているね。
- 上手に育てられてる、大丈夫
- 成長が順調であると言ってくれた
- 赤ちゃんが泣くのは、コミュニケーションでお話をしていると思ってください
- 赤ちゃんの体重、ちゃんと増えていますね
- 赤ちゃんはおっぱい飲めるようになるから大丈夫だよ！いいおっぱいだよ。
- 赤ちゃんもだけど、お母さんも頑張ってますね！
- 専業主婦になったので、仕事ができるか不安になっていたのを、否定せず聞いてくださり、前向きな気持ちになりました。
- 早産だったことを気にしていたら「この週数でこの体重ならこの子には何も問題ないよ」とフォローしてくれた
- 相談したいことや困ったことがあればいつでも連絡くださいね。
- 体重の増えが順調だね、お母さん頑張ってるね
- 体重増加が少なかったが、問題ないと言われホッとした
- 体調はどう？と気に掛けてくれている言葉だけで救われた
- 退院後から恥骨痛や臀部の激痛が始まり、下半身に力が入らず寝返りも打てず、授乳もままならない母体の不安な話を聞いてくれて、似た症例をもとにアドバイスをいただき。すぐに整形外科に通えたこと。産院では骨盤の歪み？によるものと思われるが適切なアドバイスを受けられなかったの。
- 大丈夫！ それでいいのよ。
- 大丈夫！ 母乳についてのアドバイスを的確にしてくれて心が楽になった。
- 大丈夫、安心して、などの言葉
- 大丈夫だよ。
- 大丈夫だよ。頑張っているね。可愛くないと思うことがあっても普通だよ。
- 大丈夫よ。順調に成長してますね。
- 大変だったね、がんばったわね
- 大変だよね～
- 大変ですね、そうですね、頑張ってますね
- 地域で行われている赤ちゃん教室に、自分もいるので来てみてね、と言われたのが心強かった。知り合いが全くいない所に行くのは抵抗があったので…

- 地域で行われている赤ちゃん教室に、自分もいるので来てみてね、と言われたのが心強かった。知り合いが全くいない所に行くのは抵抗があったので…
- 超順調です！と言われたこと
- 長くやっておられる民生委員さんで「(夫を)小さい頃から知っているよ」と声をかけてもらった。
- 帝王切開になったのは、赤ちゃんが最初から決めていたことなんだよ
- 同居だといろいろあるからね、と共感してくれた
- 特に問題発言はなかったので、覚えていませんが、笑顔で「大丈夫ですよ～」と言っただけだったので、安心できました。
- 悩みに大丈夫だよと励ましてもらえた
- 悩んでいたことに対して「大丈夫」という言葉と、それに対して具体的アドバイスも頂けたこと。
- 布おむつで育てていること、産前に作った手作りおもちゃをほめてもらえた。子育てを頑張っていることを認めてもらえた。子どものことで心配していたことも、問題ないと言ってもらえた。
- 分娩が13時間かかったので、「お疲れ様でした、大変だったね」と言ってもらえたこと。
- 母乳が出ないことを、受け止めて貰えた
- 母乳だけにして、体重が増えているのかが気になっていたの、ちゃんと増えているから大丈夫と言われ、ホッとしました。
- 母乳で充分育っていますと言われたこと
- 母乳育児に悩んで周りからは母乳で頑張らないと圧をかけられストレスになっていた時期で、『ミルクでもいいんですよ、母乳の出が思うようにいなくても吸ってもらうことで赤ちゃんの顎の発達にもいいですから。こんなにご機嫌に話すのもお母さんがいっぱい愛情そそいでるからなんですよ。』とってくださいました。
- 母乳拒否の子だったので、ミルクで育つ大丈夫と言ってくれた(産院では、母乳育児をすすめられた)
- 訪問員と話している最中に喃語を発したので、それに応答(よしよし、そうなのね、等)していたら、「きちんと赤ちゃんコミュニケーション取れてるのね」と声をかけてもらったこと
- 訪問日程を決めるため、電話で保健師さんから「ひとりで頑張っていらっしゃるんですね」と言われた時、うれしくて泣きました。
- 無理しなくて良い
- 無理せず、何しても泣きやまない時は、ママの好きな音楽聴いて、泣かせておいてもいい。
- 里帰りせず二人とも出産でそれを話したときに『この頑張りは絶対に報われるからね。』と言われた。特に一人目の時はボロボロの時だったので、何気ないことだけど、救われた。あと、『一人で抱えたらダメよ。いつでも言ってね。』という言葉も嬉しかった。
- 腱鞘炎になりかけてた手首を優しくしばらくなでてくれて、無理せずなでるだけでもちがうのよ、といってくれた

4-6-5 : 訪問員に言われた言葉で、傷ついた・嫌だった言葉があれば教えてください。

- ・ (何を相談しても)「それは小児科さんで聞いてみてくださいね～」という返事しか返ってこない。何のために来たのかわからない…。
- ・ (義理の家族を)いい人達じゃない。(話を聞いていたのでしょうか…)
- ・ (実家に帰れないのに)実家に帰ればよい
- ・ (上の子の)左利きを子供が嫌がっても矯正すべきという偏った内容。(来た方の娘さんにご自分がそうして良かったと感じているとのことだった)
- ・ (赤ちゃんの泣いている理由がわからないと回答したことに対して)「わかりませんか？」と驚いたように聞き返されて苛立った。
- ・ 「こんな泣いてるうちに入らない」「もっと大変な子はいっぱいいる」「こんなことで参っていたら育てていけない」
- ・ 「ちょっと...(赤ちゃんの)体重の増えが大きすぎるようなので…」
- ・ 「まだ若いから仕方ない」
- ・ 「泣き止まないのが辛い」と話した時に、そういう時期だから今はそれを楽しんでと言われて、今が辛いんですと言い出しにくかった
- ・ 「母乳あげすぎ。泣いてもすぐに飲ませないで、あやして我慢させて。」やっと体重が増えてきたところだったので、すごく悲しかったし、腹が立った。
- ・ "・突然電話がかかってきて、近くにいるから行ってもいいか？と聞かれ、急な訪問で困った。(産後すぐだからずっと家にいるでしょ？みたいな感じだった)・「ここは区の果てだから、遠いのよ～」と言われた。・体重計が割れているけど、タオル敷くから大丈夫～と平気で言っていた。"
- ・ 1人目の時に来た方は、かなりズケズケ言ってきました。主人はよく手伝ってくれるのに悪く言ったり、部屋の掃除のことにまで言われ、あまりいい気がしませんでした。
- ・ 2人目の訪問時、両親共に医療職だから安心とゆわれた、里帰りもせず、切迫で何ヶ月も安静で、夫は仕事で帰らない日もある、こんなにリスクな母親はいないでしょと思った。上の子が訪問時お昼寝しているのに、なかなか帰ってくれなかった。寝ている間に爪を切りたいと言ったのに、結局1時間訪問され上の子は起きてしまった。夫の現在の職場の病院で以前働いていたようで、現在の病院の噂などを聞かれた、早く帰ってほしかったが、それを態度に出すと、後々マークされそうでいやだった。ノーワクチンで子どもを育てているため、変な印象を与えたくなかったの。
- ・ 2人目もすぐに行けるわよ。
- ・ おかあさんがしっかりしなきゃ
- ・ おっぱいが足りていない！と言われたこと。
- ・ オムツかぶれを指摘され叱られた。むこうはそんなつもりは無かったのだろうけど責められている気がして泣きそうになった。ナーバスになっている時期だったので言い方に気を遣って欲しかった。
- ・ お茶を用意していたのでお礼くらい言って飲んでほしかった。
- ・ お母さんが頑張らないとね
- ・ "お母さんが仕事を始めたら、さっさと母乳はやめなさい。いいことないから。"
- ・ きてくれたときにリビングで寝てたから今赤ちゃんは？の問いに寝ている、といったら『起こしてここに(玄関)に連れてきて。』と。生存確認、虐待確認、のウワサは本当だと思った。
- ・ こんなに泣くのは、お母さんが構っていないからだ。私は何百人という赤ちゃんを見てきたから、わかる
- ・ "ベビー布団に、おねしょパットを敷き(セットで売っていて敷くものだと思っていた)シーツをしていたら、「これじゃ、赤ちゃんの汗を布団が吸えないでしょ。今時のママって、こんな事も知らないのよね。」と言われショックでした。母乳、ミルク混合で、「何で母乳だけにしないの？楽なのに」と更に言われ、心が折れました。"

- まあそんなもんだから。いい子な方よ。
- まわりに友達や祖父母がいるのに引きこもりのように決めつけられ、赤ちゃん教室など頑張ってみたりと交流をもたないといけなと言われて。赤ちゃん、子育ては今が一番可愛くて楽、これからもっと大変になると言われ、その時点で子育てにかなり疲れているのに頑張りやを否定されているように感じられ、先が見えず悲しかった。
- みんなそうだから。
- もっとミルクを増やした方がよい
- よく泣いて抱っこ抱っこだった子を抱き上げて顔を見ながら「あんたはしばらく泣いてなさい」
- よく寝る子だったのですが、そこだけ取り上げて「お母さん楽でよかったわね～」と言われた。初めての育児だし他の面で大変なこともあるのに「あなたは恵まれてる、大変ではない」と決めつけられた。
- 医師ではない立場の方であって乳児の健康状態の善し悪しは個人の意見になりがちなのでは？（このくらいなら、大丈夫だよー）とか。
- 何か悩みとかある？子育て手伝ってくれる人いる？と聞きながらも、誰もが寝不足と闘いながら子育てするんだから頑張ってね！赤ちゃんにはママしかいないんだからママがしっかりしないとね！と言われて、はい？は一、分かっていますけど。となってしまう、それで降話しをしたくないと思った。
- 覚えていない
- 気にしすぎじゃない
- 義母が元保育士と伝えたら、なら安心ですねと言われたこと。
- 嫌って程ではないですが、世間話で長く時間がかったのがちょっと...
- 玄関で赤ちゃんの体重を測るのは始めてだと言われた。リビングに通した方が、良かったのでしょうか。散らかりまくっていたのに。
- 玄関先でのみの対応で、地域でやっているイベント等のチラシを渡され、少しの立ち話だけで帰っていった
- "言葉ではないが、話を聞く態度はなくただ淡々とこなしている態度がものすごく嫌でした。マニュアル？質問事項？通りをしたら帰って行きました。3歳児健診の時におっぱいが切れて痛いし血だらけになるからミルクあげてます、と言ったら『痛いからってあげないじゃなくて、痛くてもあげなさい』って言われた事はちょっと傷つきました。"
- "産まれた時から手の指にあった蒙古斑について、「母子手帳に書いてないですけど、元々あったものですか？病院に確認してもいいですか？」って根掘り葉掘り聞かれたこと。"
- 産後うつ傾向があると言われました。
- 産後お腹がまた出ていたので、2人目がいるのかと言われた。
- 産後新生児に近い赤ちゃんと行ける場所がないかと相談したのに、首が座ってからですね、と全く役に立たない情報と態度だった
- 自分の頃の産後話を延々とさせられた、別にあなたの話は聞いていない、、と思った。人それぞれ違うし、むしろこれまで沢山の方の産後を訪問されて、その経験を話していただけるならよかった。
- 自分の子育て苦労話を延々と聞いたこと
- 自分の助産院のおっぱい外来(有料)を強く勧められた。(市の無料のものに行く予定だったのに。)
- 自分の孫の自慢話に終始した。興味ないですから、こちらは。
- 実家に帰っていたので訪問は不要と話したが、義務と言われた。別に困ったこともなく、来てもらって助かったこともない。
- "授乳の時間帯に訪問して来たので、普段は完全母乳なのに、保健師さんが来たのでミルクをあげたら、お母さんは粉ミルク派なんですねー、母乳は無理ですか？と言われた。あなたがいるから母乳をやれないんですけど、と伝えましたが、あまり意に介さず。こちらはもちろん母乳をあげたいのに。そして、ミルク慣れしていないので泣き止まず。いつもこんなに泣いてるんですか？とも言われ。だから、あなたがいるから母乳がもらえなくて泣いてるんですけど？って。用が終わったらさっさと帰って欲しいのに。だらだらと居座りました。産後すぐの母親の思考を全然理解していないまま訪問しないで欲しい。すごく腹立たしい時間でした。"

- 授乳パッドは清潔に毎回取り替えなさい
- "集合住宅で他の階に住んでいる方の家庭内の個人情報をベラベラ喋っていた。自分の助産師時代の自慢話。体重について小言や、乳の飲ませ方など、自分のやり方を強制したい言い方。自分には息子しかおらず、なおかつ嫁や孫は寄り付かない感じで孤独なのか？とにかく、嫁、現代の母親の立場が分からないとしか思えない横柄な態度。嫌悪感。妊婦教室の時にも皆の前で体重を聞かれ、バカにされる。その後、役場に言うが謝罪無し。"
- 出産前の仕事の事など子どもと関係ないことを聞かれた
- 初めての出産ではないので、何でも大丈夫ですね！
- 助産師さん自身の子育てで成功したことを言われても、私には物理的に出来ないことだったので、もう少し違う視点で答えてほしかった。
- 小児科の先生に聞いてみてね
- 上の子が少しでも赤ちゃんを触ったり抱っこしようとしたら注意した。
- 寝室にずかずか入ってきて、ベッドのかたさを確かめられた。
- 赤ちゃんの夜泣きがあり、精神的にまいっており、相談した所、私もそうだった、と訪問員の方の悩みを永遠とされ、こちらが、大変でしたね。と話を聞く形になった(1人目も2人目も同じ相談員の方。北九州市戸畑区)
- 赤ちゃんを雑に揺さぶってあやされた
- 全体的に話し方が馴れ馴れしかった
- 素敵な方でしたが、かなり上から目線で経験談をお話しされたりして、少し戸惑った...
- 双子で母乳育児がうまく行っていなかったことに対して、母乳を吸う方の子供はくわえてるだけや！と乱暴に言われた。あとはもう3ヶ月たつ頃に助産師と市の職員が2人でやって来た。
- 他の児と比べて～って言葉が多かった。
- 男の子だから、育てやすいでしょう。
- 地域情報は、ペーパーを見れば分る程度のうわつつらな説明だった。実際の状況は把握されておらず、行ってみようという動機付けには全くならなかつた。
- 地元に住んでいるなら、友達がいるだろうから、相談出来て安心だね、みたいに言われた。が、相談出来るような友達は居らず、そんな私はダメなのかと落ち込んだ。
- 二人目の時母乳が出なかったのですが、一人目が出たなら二人目でも出る。
- 病院では母乳を勧められ頑張っていたのに、「ミルクをどンドン与えなきゃだめ」と言われ混乱した
- 聞き取り項目の確認ばかりで、相談や発達の事など聞きたかったことがサラッとしていて嫌だった
- 保育士してたら子育ては大丈夫よね
- 母の体のことで相談をしたとき、実際見るでもこちらが話した以上に詳しく聞くわけでもなく、たいしたことはないと思うと言われた。
- 母乳が全然出ませんね(体重測定前後に授乳時間があった)
- "母乳育児で出産時よりかなり大きくなった息子を見て「お母さんは甘いもの食べすぎ」と言われました。しかし、私は甘いものは週に一回しか食べていませんでした。他にも言われて嬉しくないことを言われた。"
- 母乳出ない、もう無理だね。家をジロジロ見られた。
- 訪問の際には特になし。市の集まり3ヶ月の時は、イライラしたり傷付いたり泣きながら帰った
- 訪問員が、家に来ることが嫌だった
- "訪問員から何か言われたということはないが、産後すぐに新生児訪問のはがきを出したのに一向に連絡が来ず、結局対象の4ヶ月を過ぎてからやっとの訪問だった。初めての出産で里帰りも実家からの手伝いもなく、0～1ヶ月の時期がものすごく辛くてしんどくて、訪問があったら相談しようと思っていたのにそれができず、「今頃来られても意味ない」と思った。"

- 訪問員ではないが、市の母親学級に参加して、出産後に、同窓会の様なものに参加した時、助産師か保健師か分からない人から、出産を経験して一言どうぞと言われて答えたら、パパに対して求めすぎみたいなのを言われて、パパをただ褒めれば良いみたいなニュアンスで言われ、私は褒められなくても良いんだと嫌な気分になりました。他の人はすごく良い人ばかりでした。
- "訪問後、赤ちゃんはどこ？と、パタパタ家に入られてビックリした。お母さんものんびりしてるから大丈夫そうねと言われて何だか変な気持ちになりました。"
- "訪問日を決める電話をいただいた際最初の電話で私が1ヶ月検診でたまたま不在だったためすごく訝しげな話し方をされて不在だったことを咎めるような口調だったのが非常に気になりました。(直接的に咎める言葉をかけられたわけではありません。電話を受けた母があまりよい感じではなかった、と話してくれました)二度目の電話も私本人が電話口で話しているのに探られているような話し方がとても気になりました。"
- 訪問目的の一つが「乳児の虐待への警鐘、又は監視」という意味の会話があった為
- "忙しいのにしつこく色々聞かれて時間がとられる。(性別や出産の状況、母乳かなど)"
- 娘は標準より大きめなのですが、そのことについて大きすぎるとか、このまま成長し続けたらどうなるのか...のようなことを言われました。悪気があるわけではないのはわかりますが、あまり良い気持ちはしませんでした。
- 明確な言葉は覚えていませんが、成長曲線と我が子の成長を比較して不安になることがあった
- 予防接種は家族の意志です。ほとんどの方が受けていますが。
- 良い人でしたが、1人目2人目男の子だったので「3人目産まなきゃ。頑張って3人目で女の子産めば老後は安泰よ。」と。傷付きはしなかったけど、この立場の人からのこの発言には疑問でした。
- 哺乳瓶を拒否されないように、混合育児で頑張っていたがそんなのは無駄だと笑われた。

6 : こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）が、もっと〇〇だったらいいのに！ 〇〇なところは全国に広がってほしい！など、ご意見をお聞かせください。

- 産後の母親の体調及び心身に特化したケアを中心に、相当な対応出来る人を送り込んでほしい。助産師や保健師はもちろんカウンセラーのような人を希望します。私のように産後の骨盤の不調で半年ほど腰や尻、膝に痛みが出て立ち上がることも歩くこともままならないような、育児どころか社会復帰も出来るかどうか不安になり、子供を産んだことを後悔し子供に恨み節を聞かせて生きることを想像して眠れなくなり、産後うつになりかけていたような人には、1回のケアではなく定期的に母親が明るく育児ができるように話を聞いて不安な気持ちを取り除いたり、アドバイスできるような心ある専門家を派遣してほしいと思った。
- 産後の訳がわからないときに来られるよりも、しばらくたって悩みが具体化してきたときに相談できる同姓の助産師さんに来てもらいたい
- 産後自宅に訪問されるのは正直しんどい(自宅の掃除。おもてなしをすること。何より自分の体調)が、赤ちゃんの体重測定してくれるのは助かりました。
- 産後早い時期に訪問があったが、この訪問の目的が何なのかいまち理解しておらず、不安だらけで何を相談して良いのか自分の中で整理できなかった(家庭環境を見に来るのが目的だと思っていた)。産後うつにならないためにという目的もあったのであればもっと違う相談も出来たのではないかなと思う。
- 産後不安や質問などがとくに多く、身体的にも精神的にもかなりきつい時期であり、的確に答えてくれる人が訪問すべきである。2回と的確に答えられる人が訪問してきたわけではないので、保健師の資格などがあり、かつしっかり経験のある資格を持った人が訪問すべきであると感じている。
- 産後落ち着かない状態で家にあがってもらうための片付けが本当に大変だった。今後の支援情報(支援センター、助産院、母乳外来)をもらえたのはありがたかったが、同じ地域でも人により情報差があるようで、同一して欲しい
- 産前からお世話になってる人ならまだしも、疲れているときに初めての人には会いたくない。最新の情報予防接種などを持ってこないなら不要。自身の経験も不要。
- 産婦人科との連携がとれていると、尚良い。
- 産婦人科の助産師や看護師さんのように知識豊富な人であつたらいいと思う。一般的な誰でも知ってるような回答しか返ってこないこともあり、こちらも産後疲れている中、来客に備えた準備をしたりするので、こんな内容ならわざわざぎてもらう必要はないのでは？と思ってしまいました。ましてや二人目なら必要ないと感じました。(強制だと思っていた)
- 子育てに力を入れている自治体なので、信頼できる立場の方が担当していました。特に不快な思いはしませんでした。この時期は小さなことでも気になるので、嫌な思いをされた方はつらいだろうなあと思います。産後体がしんどい中家を片付けて迎えるのは面倒でした。
- 子育ての初期には第三者の訪問は必要と感じるので、教育を再度行うべきではないでしょうか。(訪問者の質＝人として、また教育を含む) うつ傾向に陥らないよう、在宅でもママが楽しめるサービスの提案なども新たに考えるべき。例:スカイプなどのネットを通してのレクリエーション。メンタル的にリラックス&集中できるアロマテラピークラフトのキット。DVDで楽しみながら子育てが楽になれる学びなど。ドラマ仕立てだとなお良いかもしれない。
- 子育てを手伝ってくれる両親やご主人さんがいるかと言う質問をされていると答えたらじゃあよかったねと言う感じでした。手伝ってくれる人がいるかどうかにかかわらず、私は産後うつの状態を経験したので、今思うとですがポイントはそこではないと思います。色々しんどいときには質問攻めにされると疲れますし、かといって伝えたいことだけ伝えて帰られても何も残りません。もう少し心に余裕を持って質問したらゆっくり相手の話に耳を傾けたいでも必要ではないかなと思いました。
- 子育て現役中の方か、もしくは少し年代が離れていても、今の育児のスタンダードを理解されている方が来てくださると嬉しいです。否定しない、アドバイスを押し付けないでいただきたい。
- 子供が産まれたらなるべく早く来て欲しい。母乳育児のことを相談出来る先が載った紙をだいが経ってから持ってこられても。。
- 子供が新生児のうちに相談などをできる相手や機会があることはありがたいが、家に人を迎えるということ自体が気持ちの上でとても負担だった。育児環境を見ることにも意義があるのだろうとは思いますが、外での面接でも良しとなれば、もっと利用しやすくなるのではないかなと思う。
- 子持ちのスタッフに来て欲しい。若い独身の方だったので少し頼りなかった。
- 利用しにくいだろうなと思った。

- 市を通してお知らせの電話があったので日程を決めて来てもらったが、玄関先で地区の乳児向けイベントの情報フライヤーとおもちゃを渡されただけだった。子どもの顔も見ず。特に事前に相談内容もリサーチされなかったし、そもそも事業の目的もこのアンケートで初めて知りました。横浜市には助産師訪問もあるので、こんにちは赤ちゃんには力を入れていないのかも(だったら必要ないのではとも思う)。訪問時期もほぼ同じだった。
- 市町村の助産師さんは里帰りから帰ってしばらく経ってからのタイミングで来てくれたので、よかった。1ヶ月以内の時は病院の助産師さんが来てくださった。2回同じようなことを受けられたので、とても良かったです。
- 市民でない、受けられないので、里帰り期間が長い人は
- 赤ちゃん事業については強制的に受けなくてはいけないものという印象があります。受けないと虐待につながっているのではないかというふうにみなされそうで好きではありません。
- 2人目のときは民生委員のような人から電話があったが、仕方なしに連絡した、面倒と言うのがありありで、来ないでほしいと思うような対応だった。もっと産んだ母親に近い感覚の方に、寄り添って頂きたい。
- 2人目の時、このサービスとは違うのですが、助産師さんがきてくださったのを覚えています。たまたまですが、私が産んだ産院の助産師さんで、年齢も近くとても楽しい時間でした。年配の方の話を聞くより、年の近い人と話すのが一番のストレス発散になると思います。別件ですが、駅やお店でずれ違う時、ほとんどの年配の方は親切なのですが、時に「まー、こんな小さいのに外に出すのね、最近の人は」と言われ、イラっとしたことがあります。
- 2人目の時に、2人目だから子育てのことわかるし要らないよね？と言われて利用しなかった。2人いるからこそその悩みなどは聞いてくれないの？と思ってしまった。
- 2人目は産後24日での訪問。産後一ヶ月検診前に、子供の体重を測って欲しかったのでその時期を希望したが、その後3.4ヶ月検診に自ら行くまで役所の音沙汰なし。たった1度きりの訪問に意味があるのか疑問。信頼関係もない人に、何でもかんでも話したり、相談出来る人って少ないのでは？
- 2人目出産後、希望ハガキを出して無くても、突然ピンポンと訪問があったので、その時は玄関で対応しました。1人目の時はこんにちは赤ちゃん事業の詳しい説明もなかったで、利用しませんでした。
- 2番目以降の場合、赤ちゃん訪問を必要としない事もあるので(育児に慣れていて、相談したいことや悩みが少ない)その分を新米お母さんや必要としている方に、複数回行ってあげてほしい。友人から聞いた話ですが、母子手帳取得後に流産してしまったが、誕生する予定だった翌月に、赤ちゃん訪問の電話がかかってきたそうです。ただでさえ悲しい所に、追い討ちをかけないよう、こういう事がないようなシステム作りをしてほしい。
- 3人目の時は体重計を持ってきてくれなかった。身長、体重をはかってほしかった。もうちょっと早い時期にきてほしかった。
- あまり意味があるもののように思えなかった。地域の集まりの案内のみ
- ある日突然市役所の方がいらして、庭先で「産後どうですか？」と声をかけられた。とてもじゃないけど、悩みを相談するような雰囲気ではなかった。とりあえず、誰かが全戸訪問しなくてはならない、というルールでは、全てが事務的になってしまっ、「訪問する」ということが目的になってしまい、雑になってしまうと思う。それなら、1歳6ヶ月検診のように、決まった期間、決まった場所に、少人数で、同じ時期の子供を持つママ達が集まってお茶飲みのようなことをしたり、マッサージをしたりして、「あーこの地域には同じくらいの子供を持つママ達がいるんだーみんな同じような悩みがあるんだなー」とか知ることができた方がいいと思う。
- アンケート立案までのお話などを読んでいて、そんなひどい人もいるものなんだ！と知った感じです。「厳しいことを言われた」というのも、／普通の精神状態ならなんとも思わないことも、産後の不安な時だからこそそう感じたということはあるかもしれない。私は、比較的落ち着いている時期だったからどんな言葉も肯定的に受け止められたが、「どうしたら良いの？」ということで頭がいっぱいだったらそうは行かなかったはず。受けるべき時期の選択もまた難しいと感じる。例えば、1ヶ月以内は、里帰りしていたり、きてもらったりしていたので、おとなもいて母親としても話し相手があり、不安もまだ少ない(個人的には)しかし、本当に大変になり、あれこれわからなくなるのは、その大人の手がなくなり、ただ泣いて眠るだけでなくなる2-3ヶ月過ぎまたはもっとおそくなのでは？と3人目を1ヶ月検診とほぼ同時期にハガキを送ってしまったために思ったことです。
- いきなりの訪問だったので、慌てました。産後とはいえ、人が訪問するならそれなりに片付けておきたいです。訪問前にお電話や事前に日時を決めるなどしていただけると助かります。
- うちには相談しやすい人が来てくれたので、他の場所でもそういう人がこの事業に携わって欲しいと思う
- うちの地域は民生委員による訪問で、そもそも意味があるのか？と思いました。助産師さんや保健師さんなど、赤ちゃんについての正しい知識を持った方に訪問してもらい、例えば赤ちゃんの体重や身長を測ってもらうなどの有益な活動が組み込まれるといいのになと思いました(そういう活動のある地域の話も聞いたことがあるので)。あとは、現在の育児事情に沿ったアドバイスができるよう、国や自治体での研修等が必須ではないかと。それなしに産後ママのケアはできません。
- オッパイマッサージや、マッサージができる専門的な方だと嬉しい。
- お米券や図書券もらえるならもっと広まると思う。

- お母さんも赤ちゃんも産まれたばかり。全てが手探り。楽しく過ごせる人もいれば頑張り過ぎて孤独なお母さんも沢山います。でも愛しているからこそ、我が子の為だからこそ上手く出来ない自分に辛くなって悪循環に陥りやすいのかなと思います。そんな時にただ話を聞いてくれて、大丈夫。貴方はもうすぐでよく出来ていると認めてもらえる場であってほしいです。誰でも子供に対してマイナスな感情は人に言いにくいものです。それを吐き出せる場であってほしいです。
- きちんと訪問したかのチェックをして確実に制度が機能するようにしてほしい。 切手代もかかるし二人目からはハガキも送らなかった。
- こうだったらいいというよりも、認知度が低く知られていないと思います。 まずは周知されるために何をすべきか…それを利用するとどんな助けになるのかを明確に分かるように宣伝することが必要だと思います。
- こちらから働きかけをしなくても、何度か来てもらえたり、気軽に相談できる体制だと良い。 小児救急電話相談のように。
- このアンケートで民生委員とかボランティアとか、赤ちゃんや産後のお母さんに関して素人の方が訪問事業に行っている地域があると知って驚きました。それで産後のお母さんのサポートがしっかりできると思えません。(正直、保健師さんにも当たり外れありますが……)全国で専門の方に訪問してもらえるといいなと思います。
- こんには赤ちゃん訪問は利用するものなのですか？ 全員もれなく訪問してくるものだと思っていました。 また、いきなり訪問しにくるのではなく、事前に電話でいくのか伝えて欲しかった。 地元のものではないので、親子で出かけて遊びに行ける場所を教えて欲しかった。 もう1つ、何かあれば言ってくださいねと言って欲しかったが、 どこに連絡をすれば、来てくださった民生委員さんに相談できるのかわからなかった。 民生委員と地区ボランティアが主催している子育てサロンがいつ、どこであるので、遊びに来てくださいね。 私達民生委員もいますので、何かあればその時に相談してくださいね。 ともっと具体的な情報を伝えて欲しかった。
- さいたま市内で今月受けました。同時期に受けたママ友たち(3人)は1~2時間たっぷり話ができてとてもよかったようです。私の場合、質問には答えていただいたし「他に質問ありますか？」など聞いていただきましたが、アンケートの記入時間も含め30分程で終わり、当たり障りない感じでした。ママ友たちと比べてしまうと、時間をかけて色々な面から話をしたり、赤ちゃんとの関わり方を見ていただきたかったです。当然ですが、訪問する方によってだいぶ異なるのでしょうね。受ける側の捉え方にもよりますし。しかし、私を含め周りでは、事例のようなひどい状況は全くありませんでした。
- ストレスチェックの指標が古すぎる。普通にお母さんの話に寄り添ってくれるだけで十分。こどもの体重が増えてないと不安をあおる。辛いと感情を正直に出すと、うつ病、虐待の恐れありの容疑者のような目でみられる。かえてそれがストレスだった。そう言う視点でチェックするよう、指導されてるのだと思う。
- そんな事業があるとは知らず、詐欺かと思って、本当のことを言えなかった。
- ただでさえ育児で大変なときに、 他人が家に入るからと、いつもはしない丁寧な掃除をしたり、片付けをしたりと、余計な仕事が増えた。 電話やメールを希望する人には、そうしてほしい。
- だれもが利用したくなるような温かな内容で、さらには定着化して、最終的には国として自慢できる事業に育ってほしいです。 やはり訪問する「人」によるところは大きいと思います。デリケートな産後のお母さんが安心してお話しができるよう、妊娠中に1度会う機会があると良いかと感じます。
- たんたんに進まず、親身になって話をしてくれたら(子育ての経験話などをして)子育てって思った通りにいかないことが当たり前だと、悩むことはみんな同じだと、特に1人目の時には話してほしい。
- なくてよいです。他のことにお金を使ってください。産婦は望んでいません。
- なにかと1人目は、わからないことや、不安が多く相談したいことがあったので助かったが、色々発達の事など聞いてもいないことであーしたら、こーしたらと言われて余計に不安が増えた。。残念。 気持ち的に1ヶ月くらいは、まだ外出する気になれなかったが、保健師さんから訪問してもらったことで、部屋を片付けたり大変だったが気持ちの切り替えができたのは助かった。
- なんだか、やるべきこと(体重計測、一方的な情報提供など)して帰っていったので、わざわざ予定空けて待ってることなかったな、と感じた。 急に「聞きたいことは？」と言われても出てこない。 事前に訪問ってどんな感じで、話したいことや質問あればメモしておいて一、とか言ってくれたら心の準備ができるかも。 それから生後四ヶ月頃フォローで別の人が来て玄関先でお話するので対応いただけますか？と言われ、それも強制だと感じたし、結果誰も来なかった。
- なんのために助産師でもない人が訪問してくるのかわからない。できれば産後すぐは知らん人に会いたくない。意味がわからない。せめて保健師か助産師にして欲しい。
- パパと一緒に受けて、パパの自覚を持つような声かけをしてくれたらいい。 ママが頑張らないとねだと1人でやっていくのが普通なんだと思った。
- パンフレットと赤いガラガラをもらって玄関先で2.3分話した程度でした。結局、ガラガラをもらったこと以外には何も覚えてないです。事前にどんな目的かを明確にして、何をしてくれるのか説明があるといいと思いました。
- ベビーサークルなどの情報提供をしてくれるといいなと思いました。
- ほとんど家の中にいて、家族以外と話することもない状況で、感じのいい訪問員さんに出会えば、気持ちが楽になると思います。

- まずは、きちんとした知識を持っている人がいい。子どもの相談をしたくても近所のおばさんと話しているみたいに感じた。保健師も委託の人がいて。考え方が今にあっていない発言もあった。
- また会いたいと思える方に訪問していただきたい。
- マニュアル的な質問と、使えるサービスの提案をして、身長体重などを図っておわった。もう少し色んな話がしたかった。ママも出産して初めて外部の人間が訪問事業の人だったという事もあるので、気分転換になる会話ができるといいのでは。産後のリスクを見つけるための事業なら、保健師以外にも精神保健福祉士や心理士など専門家を絡めるべきだと思う。
- ママに寄り添った目線
- ママのため
- ママの悩みに一方的にアドバイスするのではなく、まずはただ話をきいてほしい。
- もう少しゆったりと色々聞いてもらえるとよかったです。
- もう少し長い時間話を聞いてほしい。傾聴のテクニックを学んでほしい。精神的に少し追い詰められていた時期なので、そういう人との話し方を学んでほしい。
- もちろん育児、新生児に詳しく、せめて訪問する新生児の情報を予め知っておいて欲しい。不安なこちらにアドバイスの一つでも出来る方を望みます。
- もっと、産後のママが行ける場所や集まれる場所の提案や開催をしてくれたいいな。と、地元でもない引っ越したばかりの地で出産した私には何よりママの知り合いが欲しい時期でした。
- もっとママ達に寄り添ったものだったら広がってほしい。
- もっと育児、乳児、なんでもいいので専門性のある人、あるいは人の話を聞くことに対して教育を受けた方にしてほしい。訪問することだけが仕事にならないように。
- もっと一人一人の相談に乗って欲しい。現役で子育てされている方の方がいいかも？私の時は物凄いおばあちゃんでした。
- もっと何回もあればいいのに
- もっと回数が増えたら嬉しいのに
- もっと個人個人のその時の悩みを解決できれば、訪問にも意味があるのかなあと思います。悩みを相談するというよりも、ただただ子育てサロン、支援センターがあるっていう紹介で終わったような印象です。
- もっと身近なもので 利用しやすいものだといいなと思います。
- もっと赤ちゃんのためになるような特徴がある事業ならいい。遊び方を教えてくれるとか。今思っても、なんのためのものだったのか、よくわからない。母親の産後うつや虐待の傾向チェックなのかと思ってたけど、ただ話して、身体測定して終わりだった。あれじゃそういう傾向なんてわからないんじゃないのか？慣れない子育ての中、家に来られる負担だけあって、正直、面倒だった。
- もっと早い時期に来てくれたら良いな
- もっと知名度が上がると良い。全国に広がってほしい。
- もっと遅い時期がよかった
- もっと勇気づけてくれる。
- やはり産後の時期に家に知らない人がくるのはストレス。でも子供が泣き止まない時の対処、遊び方など教えてくれれば助かったかなと思う。子供が座れるようになるまでは意外と遊びに行く場所がなくて、家の中での過ごし方は苦勞した。なので家の中での遊び方やハイハイに向けてやることとか教えて欲しい。ただ来てアンケートだけされるより、情報を教えてもらえるとすればそこまで嫌じゃないかも。
- やはり助産師さんの訪問は色々聞けてありがたかったです。近所の民生委員さんなどよりは専門職の方に来てもらうべきだと思います。
- よくある悩み事の一覧表などがあると話しやすいと思います。
- よく飲みよく寝る子で、特に悩みがなかったためあまり印象に残っていないのですが、何か悩みがあれば優しく聞いてくれそうな人だったと思います。にこやかにお話をして終わりました。
- わたしは産後、そこまでしんどかったり孤独だったことがなく、また担当の方もみなさん良い方でしたが、なかには赤ちゃん訪問で傷つくようなことを言われた、という話は聞いたことがあります。1番ナーバスな時期だと思うので、ママの気持ちに寄り添ってくれる方たちにぜひお願いしたいです。

- 家に来てくれて体重や身長を測ってくれるのは良いと思います。なかなか新生児は、母親一人で、計測するのは難しいですから。あと、我が家は父親が育児しません。父親に対して育児するように影響力の有る方に父親に対しても訪問してほしいです。
- 家に来てもらえるのでありがたい。でも、出産後、1ヶ月よりもうちょっと後にも問題や聞いて欲しいことが出てくるので一回だけより回数多いと良いなとは思いました。
- 家を教えられ「何かあったら声かけて」と言われても普段見かけない人に何かあっても声はかけないと思う。例えば近所のスーパーなどで該当する月齢の子を連れてきているお母さんに声をかけたり見守ってくれるような活動などあれば「この人このスーパーの入り口でよく赤ちゃん可愛いね。疲れてない？って言うってくれる人だ！」とこちらも認識できて、何かあった時も正直に口に出しやすいと思う。
- 家族じゃない人と話せるし、専門家の目線でも見てもらえ、体重も計ってもらえ、アンケートでストレスなども気にして話を聞いてもらえる、良いことだらけなので強制でもいいんじゃないかなと思うくらいです。面倒に感じてもぜひ利用していただきたいなと思います。
- 家庭訪問だと嫌う人もいるかもしれない。1ヶ月検診で外出するのが母親にとっても久し振りの外出の可能性もあるので、検診先で話をゆっくり聞いてくれる人がいると魅力的かもしれない。
- 家庭訪問ではなく、同じくらいに出産したお母さんとの交流会だったら良いな。
- 回るのに時間がかかっても良いので、きちんとした資格、知識のある方が訪問して下さるとありがたいなと思います。
- 回数を増やして不安を聞いてほしい
- 絵本のプレゼントがあったら嬉しい
- 顔がつながるといいと思うので、例えば4ヶ月検診のときに会えますねとか言われたら我が子を見てほしいと思う。私はうれしかった思いしかありません。お部屋も片付けきれなかったのに、お母さんの体の回復優先よ！と励ましてもらえて涙が出ました。続いてほしい活動です。それから、産院では教えてもらえなかっただっこの仕方や、どんな遊び方をすると発達を促すのか？どんなおもちゃが適正か？教えてもらえたら、もっといいなと思います。
- 希望の日より、来るまで日にちがかかったのもっと助産師さんを増やしてほしい！
- 希望者だけでなく、誰もが受けて当たり前になればいいのに。と思います。
- 希望者だけにしてほしい。寝不足の時期で宅配の対応すらやっとのときに来てほしくない
- 期待していたがなんかあまり印象に残っていない
- 気軽、地域だけではなくて近隣の県でもやっている赤ちゃん和妈妈の活動とかもおしえてもらえると繋がりがあって良いかも！
- 気軽に頼めたらいいのに！いつ頼んでよいかわからないので、二人目以降は頼まず。というか、一人目は自動的に来たのかな？なので、よくよく考えると、一人目のときは、こんにちは赤ちゃん事業という名前だったのかもどうか、よくわからなくなってきた。。。
- 気軽に利用できる
- 虐待監視の強制作業だと思っていた。2人目の時に予定時間から2時間遅れてきたので社会的に問題ない行動をとる人が来てほしいと思う。
- 虐待早期発見、又は阻止に繋げるためには、一度でなく定期的に行くシステムの方が良いと思う。
- 虐待防止のためなら、保育所を増やすべき。訪問事業だと家を片付けるなど気疲れする。赤ちゃんのお昼寝の時間もあるし、好きなときに児童館などで相談したり、電話相談の方がいいと思う。
- 急に今日の午後行きます、とかではなく予定を前もって知らせしてほしい。家も片付いてないしなかなか家にあげたくない状況で来られると困る。(奈良県在住です)
- 京都市は一度だけなのですが、希望に応じて何度か訪問の機会が選択できればいいと思います。
- 共感したり、励ましてくれる人がなってほしい。
- 強制だといいと思う。

- わたしは特に必要性を感じなかったんですが、必要としている人や、救われている方も少なからず要ると思います。保健師や看護師も人間なので、相手を救うこともあれば、思いがけず傷つけてしまうこともあるんだろうと思います。なので、産後神経質になっている時期ではあるけれど、傷つけられた！という意見だけにフォーカスしすぎないようにしてほしいと思います。ただ、訪問員を民生委員が決める、とかそういうのは古いと思いますので、そういう点は改善すべきかな、と。ちなみにうちの市は今年度より訪問員の増員募集が市政便りに掲載されていて、知り合いが4月から訪問員として活動しております。きちんとクリアに動かれている市もあると思うので、きちんと調査されてくださると嬉しいです。必要な人に必要なサービスが届きますように。
- 安心
- 育児に対して悩みがなく、理由する必要性はなかったが、断ったり訪問を渋ると虐待などを疑われそうな気がしたので訪問を許可した。しかし事前の部屋掃除とか面倒でストレスが溜まった。自治体で4ヶ月検診があるのだから、特に相談がない人ならやらなくてもいいのではないかな？と思った。
- 育児放棄や家庭環境の調査なんだと思っています。必要な人には必要だが、育児放棄している人には必要。でも育児放棄している人は任意にしたら絶対訪問依頼はない。
- 一回きりの交流だったので、妊娠～出産後のどこかでも継続的に関われば良かった。
- 一回だけではなく、3ヶ月ぐらいまで頻回
- 一人で家庭で頑張っているママたちは大変。寄り添って話を聞いてくれるよう、お願いいたしますm(__)m
- 一人目だろが、2人目それ以降だろうが、その赤ちゃんを育てて行くのはみんな初めてなので対応の仕方を見直して欲しいですね。
- 一人目のとき、訪問して下さった助産師さんがとても素晴らしく、三人とも同じ助産師さんに訪問して頂いたり、その方が主催されているベビーマッサージや母親の体操などに参加したり、つながりができて、とてもよかったです。訪問される方が助産師など、専門的な知識のある方だと産後の母親のことも十分理解して下さり、赤ちゃんのことも色々教えて下さり、有意義な訪問になると思います。
- 一人目の時はもうちょっと専門的なアドバイスをもらえると思っていたため、普通のおばちゃんでも世間話程度だったことにながかりました。二人目は来る人の立場を知っていたため期待はしていなかったが、私がファミサポに勤めているため、その事業説明に終始し、伝えて欲しい訪問員が把握していなかった。その後、定期的な訪問員の集まりに説明に向いたが、あまり雰囲気の良いものでは無かった。こんにち赤ちゃん事業もファミサポ事業も市の事業にも関わらず、担当課が違うため連携が取れている実感があまりない。今後産前産後ケア分野としてとても重要な事業と思っているので、自分たちも働きかけを続けたいと思っている。
- 一人目の時は訪問されないと予防接種の用紙が貰えなかったのが、二人目では早めに郵送されていたので、良い方に改善されていたので良かったです。(だから一人目は強制感が強かったです)
- 一人目の時は本当に親切な助産師さんで、紙のアンケートをして、すぐ、相談に乗ってくれたり、たまたまその時主人が同席したのですが、後日検診でたまたまお会いしとき、ご主人さまに言えないような悩みとかありましたか？と聞いてくださったり... 二人目の時は色々な案内を渡しただけで、引越したばかりだったので聞いても大した解答ももらえず... その地域のことについてもちゃんと知っている人が来て欲しかった。
- 一人目の時も二人目の時も引越して同じ人ではなかったのに、どちらも訪問を忘れられていて、そんなのなら要らないと思う。
- 一人目は助かったけど二人目は色々忙しいのでいらないかあ。助産師さんの進め方なのか全員強制だと思ってました。
- 一人目育児で不安だった時、訪問員さんが来てくれて嬉しかったのを覚えています。生存確認というか。母親も、一人目育児の時は不安です。誰か、経験豊富で専門的な知識がある人に見に来てもらえる、というのは、私は良いサービスだと思います。この時、近隣の小児科などの一覧や、地図をいただけたらいいな、と思います。
- 右も左もわからない0～1ヶ月の時期に訪問してほしい！
- 横浜市では保健師さんの訪問が1人目だけなので、2人目以降も希望者には訪問できるようにしてほしい。
- 何かを強制してくることなく、気持ちに寄り添い質問に真摯に答えて話し相手になってほしい。大人との会話に飢えていることもあるから
- 何も話さず、チラシ類などを置いて帰っていった。滞在時間は1分程度だった。もう少し悩みなどを聞いて欲しかった。

- 強制的だと思ってたからもっと色々な意味で広がってほしい！
- 近隣地域の小児科情報など、耳鼻科や歯科なども含め
- 区の赤ちゃんとお母さん向けのイベントを詳しく説明してくれたので、お友達作りに役立った。他の地区でも積極的に情報発信してほしい。
- 群馬県高崎市では全戸訪問らしく、希望の有無に関わらず「母推さん」という方が見えました。何らかの資格をお持ちかはわかりませんでした。事前に時間調整の電話がありました。その時に電話が取れなかったのですが、折り返す前に訪問があり、子供が泣いている中アンケートを書いて提出しました。私の地域の母推さんは「アンケートを回収すると言われていた」というような説明だったので、それ以外の話や相談をするようなタイミングではないと感じました。新生児訪問では保健師さんに色々な相談ができ、とてもありがたいものでしたが、こんには赤ちゃん事業は正直なところあまり活用できていないように思います。
- 傾聴や寄り添う事も必要だと思うけど、ステップアップのためにも親子で参加できるコミュニティの場や親子で参加できる心理学の講座を教えてください。
- 型ハマった質疑応答になるのかもしれないけれど、当事者となるママや子供をみて欲しいとおもいます。これが満たされていれば問題ないという見方で、大丈夫とか問題ありとわけられることが悲しかったです
- 形骸的でなく、本当に困っているひとには継続して見に来てもらえるようになれば異変に気づけると思う
- 結局、実際に利用することができなかつたので、良いのか悪いのかはわかりません。ただ、突然の訪問と聞きます。訪問する側は、いつものママの様子が知りたいから、予め連絡しないと聞きました。でも、実際に訪問される側からすると、一番わけが分からず毎日が戸惑ってる状態の時に、知らない人が二人でやってきて、家に通さないといけないなら、断ってしまうかもしれないな、と思います。いろんなママがいるので、やり方一つでなくても良いのではないかな？と思います。
- 結局1ヶ月半頃に来てくれたが、出来れば首が座ってからとか、もう少し時間がたってからの訪問を希望したかった。平日の昼間は一人だし犬もいてバタバタしてるから訪問自体大変なので
- 月に何回でも受けられる。個人宅ではなく、ショッピングモールなどで気軽に相談できる
- 玄関先で、話をちょこっと聞いてくれるだけなので、悩みなどは、なかなか話せない。週に1回とか介護ヘルパーみたいに定期的に来てくれたら、いいのにとします。ただ、訪問員によるでしょうが、、
- 玄関先で10分くらい、必要な情報だけを話して帰ってしまった。産後すぐであることを気遣ってもらった様子だったが、もう少し長い時間こちらに寄り添って話を聞いてくれたり、自分はこうだった、というような体験談を話してくれたりしてもいいのと感じた。家に来てくれて相談できるというのは赤ちゃん訪問制度以外にないので、1才になるまでは何度かこの制度が利用できると、孤独になりがちな子育て期間にも頼りになると思う。
- 玄関先のやつ？お家の中で体重とか計ってくれるやつ？混同しちゃっています。「玄関先でいいですよ〜」は一見気軽なようですが、あまり話ができない感じがしました。
- 個人的には産後の疲労が濃い早い段階での訪問は不要だし、自宅に招き入れる事は面倒なので一定の時期にこちらから近くの公民館等自治体の施設に赴く形が望ましい。いずれにしても対応者は助産師や保健師等の一定の資格と知識を持った方が望ましく、民生委員のような方では不安が大きい。民生委員が訪問するような自治体がある事に大変驚く。時期は新生児期よりも、離乳食が始まる5~6ヶ月頃が良いのではないかと。私自身4ヶ月までよりも、5~6ヶ月頃からの方が育児の悩みは増加傾向にある。これはどの家庭でもそうではないか。せめて時期だったり、こちらから出向けるようであったり、相談の形を選べるようにしてほしい。本当に必要性が皆無であった。
- 公的な機関だけでなく、民間でも母親たちに接している職業の方など、連携した形で幅広いサービスが受けられればいいと思います。
- 広報誌などで案内するだけでなく、商店街の所々に「こんなサービスをうけられますよ」ということを告知してくれないと目に止まらないと思います。私自身、赤ちゃん事業そのものを知りませんでした。
- 行政、民間関係なく、支援サービスを紹介してほしい。

- 今どきネットもあるし病気なら医者にかかるし、保健師にさんの訪問までに疑問や問題は解決している。また、医者ではないので医療的な回答もないので、特に問題なければあまり意味が無い。ただ、転勤などでその土地にはじめて来て子供を産んで孤独。知り合いのオバチャンができた感覚で世間話やその土地の情報（どこの店や病院が評判良いとか）とかももらえると有難い。出来れば、その後も定期訪問してほしい。介護のケアマネージャーならぬ子育てマネージャーのような存在でいてほしい。
- 今の時代の母乳育児や、産後支援のことを把握している専門職の方に来てほしい。
- 今は、近所の方の一回だけの訪問
- 今は主婦ですが、産前に一時期訪問する立場にいたことがあるため、知識がまるでアップデートされていない「年数だけベテラン」が幅を利かせている実態は痛いほど感じています。元職場も今住む地域も、訪問員は保健師か助産師に限定されていますが、記録の書式が決まっているのみで、専門職といえども訪問者個人の知識経験に完全に委ねられているのが実情。その結果、周りのママ友からも訪問で悲しい思いをしたという話を複数聞いたし、職業が割れているにも関わらず、私自身も嫌な思いをした記憶がほとんど…。訪問していた頃は、最新の知識や医療接遇などを叩き込まれていた身として自分の思う最善を尽くしてきたつもりだったので、職場に他の訪問員さんへのクレームが届くのを聞いたり、自分が訪問を受ける立場になってみて、こんなにも「当たる人次第」な訪問に何の意味があるのだろう…とウンザリしていた事実があります。ぜひガイドラインの制定を強く希望したいです！がんばって下さい！
- 今回、母親を傷つけるような発言や自分勝手な行動をする訪問員が存在するという事を知って驚いた。産後、里帰りしなかったため相談する人がおらず、訪問してくれて安心出来たのでわたしは利用して良かったが、少しでもそう思える人が多くなれば良いと思った。
- 困っている、悩んでいることに寄り添って、共感してもらえたら、すごく心が軽くなると思います。自分だけが悩んでるんじゃない。そして、やがて成長して行く過程でその悩みは解消されて行くものだよって展望を教えてもらえたら、暗闇から明かりが見えると思います。
- 最近の育児情報に詳しい方、年が近い方だったら嬉しい。
- 堺市は助産師か保育士が訪問してもらえると記憶しており、専門家に我が子の様子を見てもらえることが安心でした。できれば専門家か、それに準じる方が訪問するとか、事前勉強会に参加しないと訪問できないなど義務化したらいかがでしょうか？
- 札幌市では出産するとゴミ袋がもらえるので、申告して郵便局へ取りに行くのではなく、全戸訪問のときに持ってきて欲しい。母乳マッサージができる人にきてほしい。全戸訪問の経費がどれくらいなのか知らないが、お金を使って産後間もない母親を苦しめる（ひいては子供も）ことになるなら、いっそのことなくして、その分オムツやお尻ふきや、家事サービス・出前などの無料チケットをくれれば良いのと思う。もしくは、産後4ヶ月以降に、お店で赤ちゃんを抱っこしてもらいながら、お母さんがゆっくりご飯を食べながら話をきいてもらうとか。
- 山形では地域の民生委員が訪問するところも。おじいちゃだったりすると困るママも。経験、知識のある助産師の方の訪問など当たり外れのないよう統一してほしいです
- 産後、一度だけでなく、数ヶ月後に希望制で訪問してくれたらいいのに！新生児のうちは何が不安とか、具体的にこんなことに困るとか、それを喋ることすら億劫だったり明確じゃなかったりするから。
- 産後1ヶ月くらいでの訪問であったが、1ヶ月検診の直後で成長の様子や不安なことなど特に聞きたいことがなかった。もう少しあとの時期で来てもらえたら、またその時の不安を話せると思う。
- 産後1ヶ月以内だったら良いのに！ 専門家と、大人と話ができるだけで、話を聞いてもらえるだけで一人じゃないと思えるから
- 産後1週間で訪問され、産後うつにもなっていない、相談する内容もわからない状態だった。その後精神的に不安定になり、相談したい時期がきた。訪問時期をこちらから選びたかった。
- 産後2~3ヶ月だけの訪問だけでなく、その月齢に応じて発達の相談などできるようにしやすくしてほしい！
- 産後3ヶ月までは毎月利用したい
- 産後うつのスクリーニングのための訪問だと思うけど、いかにもお役所仕事、ルーチン作業のようになんか感じない、本当に産後うつの人は救われるのかもしれないけど 何のための訪問なのかわからない

- 産後うつ対策に、この取り組み自体は有意義かつ必要だと思う。どういう趣旨でやっているかを明確にするためにも、訪問時のはじめに、何が困っているかなどもう少しきちんと聞き出してほしい、それに対応する形でテイラーメイドにやっていただけたらと思う。母乳育児で悩んでいる母親が多い時期だと思うので、ただ話を聞くだけでなく、きちんと行えているか、ポジショニングのことなど、もう少し助産師、保健師といった専門性を活かしたアドバイスをいただきたい。
- 産後すぐから子育てに悩みました。里帰りしたものの、家族はまだ現役で仕事をしているため、朝～夜20時過ぎまで赤ちゃんと2人きり。産後うつ一歩手前で、これは危ないと思い産後1ヶ月の時、自力で地域の助産師さんを頼り子育て相談していました。結局、私が赤ちゃん訪問を受けたのは生後2ヶ月半でした。私は本当に辛かったので、早めの訪問をして欲しかったです。行政が忙しいのも分かります。なので産院にいる時から、アンケートなどでリスクの高い人を選別したり、初産の人を優先的に回るようにしていただけたらと思います。
- 産後で体もぼろぼろ、第一子で右も左も分からない、精神的にも肉体的にもギリギリのところまで育児を頑張っているのどにか言葉選びには気を遣ってほしい。数ヶ月経った今は笑えるけれど当時は母親失格と言われたような気分になり本当に落ち込んでしまった。
- 産後の精神状況に寄り添い、地域デビューに繋がる後押しとなる事業になるといい！
- 産後の精神的にも肉体的にも不安定なときだから、民生委員さんではなく、ちゃんと資格を持った助産師さんや保健師さんが訪問すべきだと思います。
- 産後の大変な時期に訪問されるのは、シンドイです。
- 産後の母親の体調及び心身に特化したケアを中心に、相当な対応出来る人を送り込んでほしい。助産師や保健師はもちろんカウンセラーのような人を希望します。私のように産後の骨盤の不調で半年ほど腰や尻、膝に痛みが出て立ち上がることも歩くこともままならないような、育児どころか社会復帰も出来るかどうか不安になり、子供を産んだことを後悔し子供に恨み節を聞かせて生きることを想像して眠れなくなり、産後うつになりかけていたような人には、1回のケアではなく定期的に母親が明るく育児ができるように話を聞いて不安な気持ちを取り除いたり、アドバイスできるような心ある専門家を派遣してほしいと思った。
- 産後の訳がわからないときに来られるよりも、しばらくたって悩みが具体化してきたときに相談できる同姓の助産師さんに来てもらいたい
- 産後自宅に訪問されるのは正直しんどい（自宅の掃除。おもてなしをすること。何より自分の体調）が、赤ちゃんの体重測定してくれるのは助かりました。
- 産後早い時期に訪問があったが、この訪問の目的が何なのかいまち理解しておらず、不安だらけで何を相談して良いのか自分の中で整理できなかった(家庭環境を見に来るのが目的だと思っていた)。産後うつにならないためにという目的もあったのであればもっと違う相談も出来たのではないかなと思う。
- 産後不安や質問などがとくに多く、身体的にも精神的にもかなりきつい時期であり、的確に答えてくれる人が訪問すべきである。2回とも的確に答えられる人が訪問にきたわけではないので、保健師の資格などがあり、かつしっかり経験のある資格を持った人が訪問すべきであると感じている。
- 産後落ち着かない状態で家にあがってもらうための片付けが本当に大変だった。今後の支援情報(支援センター、助産院、母乳外来)をもらったのはありがたかったが、同じ地域でも人により情報差があるので、同一して欲しい
- 産前からお世話になってる人ならまだしも、疲れているときに初めての人には会いたくない。最新の情報予防接種などを持ってこないなら不要。自身の経験も不要。
- 産婦人科との連携がとれていると、尚良い。
- 産婦人科の助産師や看護師さんのように知識豊富な人であつたらいいと思う。一般的な誰でも知ってるような回答しか返ってこないこともあり、こちらも産後疲れている中、来客に備えた準備をしたりするので、こんな内容ならわざわざきってもらう必要ないのでは？と思ってしまいました。ましてや二人目なら必要ないと感じました。(強制だと思っていた)
- 子育てに力を入れている自治体なので、信頼できる立場の方が担当していました。特に不快な思いはしませんでした。この時期は小さなことでも気になるので、嫌な思いをされた方はつらいだろうなあと思います。産後体がしんどい中家を片付けて迎えるのは面倒でした。
- 子育ての初期には第三者の訪問は必要と感じるので、教育を再度行うべきではないでしょうか。(訪問者の質=人として、また教育を含む) うつ傾向に陥らないよう、在宅でもママが楽しめるサービスの提案なども新たに考えるべき。例:スカイプなどのネットを通してのレクリエーション。メンタル的にリラックス&集中できるアロマテラピークラフトのキット。DVDで楽しみながら子育てが楽になれる学びなど。ドラマ仕立てだとなお良いかもしれない。

- 子育てを手伝ってくれる両親やご主人さんがいるかと言う質問をされてしていると答えたらじゃあよかったねと言う感じでした。手伝ってくれる人がいるかどうかにかかわらず、私は産後うつの状態を経験したので、今思うとですがポイントはそこではないと思います。色々としんどいときには質問攻めにされると疲れますし、かといって伝えたいことだけ伝えて帰られても何も残りません。もう少し心に余裕を持って質問したらゆっくり相手の話に耳を傾けたいでも必要ではないかなと思いました。
- 子育て現役中の方か、もしくは少し年代が離れていても、今の育児のスタンダードを理解されている方が来てくださると嬉しいです。否定しない、アドバイスを押し付けないでいただきたい。
- 子供が産まれたらなるべく早く来て欲しい。母乳育児のことを相談出来る先が載った紙をだいぶ経ってから持ってこられても。。。。
- 子供が新生児のうちに相談などをできる相手や機会があることはありがたいが、家に人を迎えるということ自体が気持ちの上でとても負担だった。育児環境を見ることにも意義があるのだろうと思うが、外での面接でも良しとなれば、もっと利用しやすくなるのではないかと思う。
- 子持ちのスタッフに来て欲しい。若い独身の方だったので少し頼りなかった。
- 市を通してお知らせの電話があったので日程を決めて来てもらったが、玄関先で地区の乳児向けイベントの情報フライヤーとおもちゃを渡されただけだった。子どもの顔も見ず。特に事前に相談内容もリサーチされなかったし、そもそも事業の目的もこのアンケートで初めて知りました。横浜市には助産師訪問もあるので、こんにちは赤ちゃんには力を入れていないのかも（だったら必要ないのではとも思う）。訪問時期もほぼ同じだった。
- 市町村の助産師さんは里帰りから帰ってしばらく経ってからのタイミングで来てくれたので、よかった。1ヶ月以内の時は病院の助産師さんが来てくださった。2回同じようなことを受けられたので、とても良かったです。
- 市民でない、受けられないので、里帰り期間が長い人は利用しにくいだろうなと思った。
- 私のところに来た方は、世間話しかされず、どこから来たのかや、あそこの家の方はこうだなど、個人情報大丈夫？自分のこともこうして他の人に話されるのではと思って、ほとんど、話はしませんでした。来られた意味は全くなかったです。体重を計ったりもなかったし、育児の質問があれば役場へと言われたので、来られるなら保健師さんに来て欲しいです。
- 私の市では、希望は聞いてもらえず、書類を持って必ず来ます。せっかく寝た所でインターホンを鳴らされて子どもが起きたり、私の時間がとられるのがとても嫌でした。話す内容もさほど重要ではなく、質問も別に答える必要のないものばかりでした。私は答えたくないものは『答えたくありません。』とはっきり伝えましたが、言えないかたは嫌な思いをしているだろうと思っていました。上記の理由もあり、書類は郵送の方がありがたいです。
- 私の住まいは健診も訪問も委託の方が多く、できれば現役の助産師さんや保健師さんが話を聞いてくれたら...と思っています。来てもらう前に電話で少し話ができたらもう少し違っていたのかなあ...と思ってしまいました。顔写真とかで選べたらママ達は安心もできるのかなあ...
- 私の場合は地域の主任児童員さんだったので、地域資源のことも詳しく教えてくださり、助かりました。ですので、その地域の事がわかっている人が一番いいと思います。中には嫌な思いをする方もいるとのことですが、産後間もないナーバスな時期に行くことがほとんどだと思うので、どのような心理状況にあるかなど、訪問するための研修を定期的に行うことも必要なのではないのでしょうか。
- 私の場合は里帰りだったので必要ななかったかもしれません
- 私の場合海外で出産したので日本では利用していませんでしたが、このような制度は良い制度だと思いますので積極的に広報を行ったほうが良いと思います

- 私の地域では、確か、こんには赤ちゃん訪問、という名前で、生後4ヶ月までどの家庭でも一度は自宅への訪問でした。訪問日は電話でアポを入れてもらい、担当者が当日の訪問でした。この時に私が違和感を感じたのは、そもそも、市からの派遣される方であっても知らない方が自宅まで来て、玄関で立ち話をして帰る、というシステム自体が問題だと思っていたのを覚えています。事前に、どんな人が来てくれるのか知らないままに、初めて会って、玄関で立ち話。なんだか心を開けませんでした。産後、ホルモンバランスも崩れていて、敏感になっていて、普段ならば問題なく話せることもこの時にはバリアを張っていた様な気持ちです。だから、来てくれて良かった！話せて良かった！！とは思えませんでした。ですので、やはり、困ったことやわからないことがあれば、こちらから赤ちゃんと一緒に出向く、という形の方が良いなあと感じます。必要があって初めて自分で求めていくのが自然ですし、ためになると思います。赤ちゃん訪問ではありませんが、生後4ヶ月から一歳までの赤ちゃんに参加できる、ぽっぽクラブという市が開催している、ママと赤ちゃんのコミュニティがあります。これは、ママと指導員の方がそれぞれのテーマで話をしたり、ふれあい遊びをしたりするものですが、毎月一度で、電話予約なのですが、すぐに満員になってしまって、参加したくても参加できない時もありました。だから、もっと開催を増やしたら良いと思いましたし、こうやってコミュニティの中でお世話になる指導員の方には素直にオープンマインドで相談や話しができてました。ここで、私は生後4ヶ月目になった娘と初めて参加した時に「4ヶ月になったの！頑張ったわね〜」お疲れ様。」って言ってもらって、嬉しくて泣きました。自宅訪問の方と、この指導員の方の大きな違いは、共感力だと思います。自宅訪問の場合には、悩みがあれば解決しなくてはならない、というスタンス。ぽっぽクラブの指導員の方は、話したい方があればなんでも聞きますよ、というスタンス。ここも立ち場があるから仕方ないとは思いますが、大きな違いだと思います。長くなりましたが、私の経験と感じたことを書かせて頂きました。これからも活動、心から応援しています。ありがとうございます(^-^)
- 私の町では小さい町なので必ず産まれたら役場の保健師さんが2人で来ます。産まれてどんな風に育っているのか~発達具合はどんななのか~ミルクは足りてるのか~などです。別に私はそんなん気にしてなかったので産んでなかなか出れないお母さんの為に赤ちゃんの様子見るついでにお母さんの心、体は今キツくないか察してくれたりなと思います。家から4人目産んで産婦人科から帰る前から産後うつになりました。赤ちゃんの事だけではなく言わなくても自分、産んだお母さんの事も気にかけてくれたら嬉しいなと思います。
- 私は絵本が頂けるということで利用しました。担当は民生委員のおじいさんで、玄関先で少しお話をさせていただいただけでした。この活動の趣旨を理解していなかったの、あれでよかったのかな？と今は思います。ただ家に閉じ籠りがちな産後期間に少しでも人と話ができるだけでもストレスの軽減にはなるかなと思います。
- 私は二度利用してとても素晴らしいと感じました。保健師さんのような肩書きでしっかりと寄り添ってくれる方に来てもらいたいです。全国でそうなってほしいです。
- 私は保健師さんがいらっしやっただけで気にならなかったのですが、民生委員さんがくる地区もあるのでしょうか。それって、講座などは受けているのかもしれないですが、素人さんですよ。助産師さんや保健師さんなら受けたいですが、民生委員さんなら訪問を断っていたと思います。
- 事業の意図をもう少し広く周知したほうがよい。
- 事前にくる日時を知らせてほしい。1人目の時は日時を予約できたけど2人目以降はいきなり来て、授乳中だったり、今から出かけるという時に来て対応が大変だったから。2人目以降になるともう子育てについてわかっていると思うけどという言葉が多くいわれた。だったら利用する意味がない。
- 持参資料の内容は口頭説明不要(実利のないことで滞在時間がのびるのは互いのためにならない)、産後鬱チェック実施経験有無チェックは訪問日決定連絡のさいにおこなってほしい(一ヶ月検診で行ったので無駄だと思った)
- 時間に限りがあるというのは承知していますが、身体測定をしたり予防接種の説明など、一方的に保健師さんがしゃべって終わり、のような感じだったので、もう少し相談できたり、こちらの話も少し聞いてもらえたらもっと意味のあるものになるのではないかと思います。
- 自宅に訪問で最初は抵抗感があったが、訪問してもらって、自己流でやっていた出産直後の育児に「答え合わせ」が出来たような感じで、安心した
- 質問ばかりしてくる調査員、保健師は産後すぐは本当に疲れてしまう。こちらの話聞く、受け止めてくれるというのが一番大切な気がする。
- 実家から戻ってきて相談する人もなかったので、助産師さんがきてくれるのを心待ちにしていましたので、もし知識が浅い方や厳しい方に当たっていたらすごくショックだったと思います。ここまでの育児を肯定して、アドバイスをくれる方をお願いしたいです
- 写真など見て指名して来てほしい。

- 若い方、40代の方
- 授乳だけでなく抱っここの仕方なども指導してくれると良いと思う
- 周知されていたらいいのに
- 出産した産院の助産師さんが来てくれてとても良かった。もっと話を聞いてほしい。産後大人と話せる機会は、半分息抜きみたいなもの…。赤ちゃんの体重を測ってもらえて良かったし、母乳指導なども良かった。
- 出産してから精神的にも体力的にもきつい時期だと思うので母親に寄り添ってくださる専門の知識を持った方が訪問してくださることを願います。
- 出産後の身長体重測定でひどいことを言われて、訪問事業を利用したくないと思った。
- 出産時の話や気持ちをもっと聞いてほしい。
- 出産直後に引越しをしたため、2度利用した。引越し後、地域のことが分からなかったので利用したのに、2回目だから大丈夫ねと話をすることもなく、資料渡されて訪問しましたとサインをただけで終わった。もっとせかせかせず、時間を作ってほしい。
- 春日井市は特に申し込みもなく、やや高齢の方が全戸に資料を渡しに行く、という感じ。何かを話したい気にならなかった
- 初産だと何を聞いたら良いかも分からないから積 極的に質問の多い内容を話してもらえるとそこから自分の悩みも見えてきて話しやすいと思う。
- 助産師、保健師などの公的な資格を持っている人に来訪して貰いたい。特に1人目の出産の場合、小児科に行くまでもないけれど聞いてみたいことが山ほどあるため、専門的な知識を持っている人に対応してもらいたい。また、日時の問い合わせもなく突然の来訪だったので、事前に連絡を貰えると嬉しいです。
- 助産師・保健師訪問（一人目のみ）の内容をこんにちは赤ちゃん訪問にしてほしい。こんにちは赤ちゃん訪問は、区の情報誌を届けに来ただけの印象。
- 助産師さん(子供3人のママ)が来てくれたのでとても安心しました。
- 助産師さんが来てくれたことは非常に心強かった。
- 助産師さんと話せて、体重のことや上の子の赤ちゃん返りの相談をできてとてもよかった。少なくとも、助産師さんや保健師さんなど、専門職の方が訪問すべきだとは思いますが。民生委員とか、来られても…。
- 助産師さんに産後を気遣っていただけ話を聞いてもらって、里帰り後に大人と話す時間が減っていた私の気分転換になった。 主人も手伝ってくれろとはいえ、痒いところに手が届かなかったり出産経験者でないといけない細かい話もあるので先輩女性の話は参考になりました。話を聴いてくれて、的確なアドバイスがいただけると来てもらって良かった！となるのだと思います。
- 助産師さんの訪問を強く望みます。せめて地域の保健師さん。民生委員なんて来てもらっても、ただの人です。虐待の早期発見には機能するたかもしれませんが、訪問される側のメリットが無さすぎる。
- 助産師さんや小児科Ns（医療的な知識をもった職種）に来てもらいたい
- 助産師や保健師など資格のある方であれば安心です。民政員さんがやっている自治体があったとは知らなかったし、そんな一般人にみてもらいたくない気がします。
- 助産師相談？の事業もあるようで、技術がある助産師さんならおっぱいマッサージもしてもらえると聞きました。新生児の頃は特におっぱいトラブルが多いので、とてもいいなと思いました。
- 助産師保健師などプロを派遣してほしい
- 少なくともわたしは満足はしたので、助産師さんや保健師さんなど専門の方が来ていただけるぶんには産後すぐのお母さんには助かる面が多いと思います
- 焼津市では保健センターの保健師さんが1人めの時にきてくれたが2人目いこうもあるといいなとおもう
- 心ないことを言う相談員の方がいるのは初めて知りました。産後の大事な時期に行くという自覚を持って欲しい。 そんな不勉強な方は、即辞めさせて欲しいです。、

- 心無い一言を発する方がいるというのは残念でなりません。国が決めているから、と形式的なものになっては意味がありません。しっかりとした研修を元に、この事業の目的を理解している方が全戸を訪問されることを願います。私は母乳育児が軌道に乗らなかった頃に、母乳マッサージをして頂き、それだけでも安心感がありました。里帰りでしたが、親とは違う第三者、必要です。
- 新生児宅への訪問を確実に行わなければ意味がない(訪問先からの拒否は除外して)産後に訪問があると風潮していても、実際には連絡も何もなく、市の対応も悪ければ新生児訪問をうたう意味などない。
- 新生児訪問の時に、赤ちゃん事業のことをお話をしてくれたら利用しやすいのかなと思いました。新生児訪問も、業務って感じなので、もっと話を聞いてもらえる雰囲気でもってもらえたら赤ちゃん事業も利用してみたいし、話を聞いてもらえたら嬉しいなと思いました。
- 新卒の保健師1年目位の子育て経験のない若い子が緊張した面持ちできて、相談するって雰囲気ではなく、話したい気持ちにもならなかった。それと、生後1ヶ月ちょっとでの来訪だったが、生後1ヶ月頃は孤独は感じていたが、一番辛かったのは、夜泣きで体力的にもきつくなってた生後3ヶ月くらい。
- 身体測定はとてもいい。
- 人によって認識&知識が違うのは問題があるので、常に赤ちゃんへの最新の知識を持っておくべき。また、母親のメンタル面への対応も勉強しておくべき。
- 人を指名できる
- 人吉市での訪問事業はとてもよかった。2人目の時は坦々と終わったので、もう少し話を聞いて欲しかったなと思った。
- 図書館や本屋になかなか行けないので絵本を配って欲しい。
- 睡眠不足、精神的にも不安定な気持ちをとにかく話の腰を折らずに最後まで傾聴してほしい。家族、一時預かりなど頼れる所に頼っても良いという事を話して、必要な場合は勧め、背中を押してほしい。具体的な一時預かり、一時預かりの利用方法などを情報として教えてほしい。いざという時にその情報を知っているか、知っていないかで利用する事を選択出来ると思うので。
- 生後4ヶ月までを対象としている事業だが、通称「新生児訪問」と呼ばれているので出来るだけ新生児の期間に訪問してほしい。どこにも出かけられない、赤ちゃんともりがちになってしまう0歳児の時期にこそ意義のある事業だと思う。
- 赤ちゃん、産後のお母さんのことについて詳しく、専門性のある人をお願いしたい。
- 赤ちゃん二人きりで辛いところに、訪問されるために掃除など大変だった。気を使わなくていいのはわかるが、そうもいかないから、できれば訪問してもらうのではなく、こちらから出向く形でもいいようになど、柔軟性があればいいと思った
- 赤ちゃんにも産後のママにも詳しい専門家が訪問し、赤ちゃんの様子もママの様子ももっと親身になってみてほしい。
- 赤ちゃんの成長を確認してもらえるところ、家族以外と話す機会が少ない時期だったのでどんな内容でも大人と話せるのはうれしいことで、広がると思います。赤ちゃんだけでなく、もっと産後の母の不安な気持ちや体の状態をケアしてくれるものであればありがたいと感じました。
- 赤ちゃんの生育と周産期の母子看護について専門的なスキルがない方が来るのは意味が無いと思っています。素人を派遣している自治体があるのでしょうか。普段とは全く精神状態が違っているセンシティブな時期に、赤の他人でしかも素人に家に訪問されるのは苦痛でしか無いです。
- 赤ちゃんの体重測定や母乳量もはかってもらったりして、少し安心できました
- 赤ちゃんの発達にあった遊びを教えてくれるとか、沐浴を手伝ってくれるとか、市が開催しているもの以外に、子育て系の教室がどんなものがあるのか教えてくれたら、いい。何か習いたくても、スマホで調べること負担なので、個人で子育ての教室をされている方と、市がつながれば、ママの負担が激減すると思う。
- 赤ちゃん会や子育てサロンのような、地域で乳児を連れて、友達を作れるような場を色々教えてもらえて、育休を楽しく過ごせて良かったです。

- 専門的な意見をアドバイスしたり押しつけるのではなく、ただただ産後の生活の話を聴いてくれる方がいても良い気がします。もしくは数品おかずを作ってくれるようなサービスがあっても。(産後ドゥーラのような)
- 全員保健師か助産師が行けばいい
- 全国、助産師訪問に統一すれば良い統一思う。専門の人でなければ訪問の意味がない。
- 全国に広がって欲しい！(全国あると思っていました...)
- 全国に広がって欲しい。
- 全国の子どもの悩みの種類とか、回答とかアドバイスとか、対応方法と書いてあつたら楽しくパンフレットに目を通せる。ベビー連れOKなお店屋美容院とかも紹介してあつたら引きこもり防止も兼ねていいと思います。
- 早期に利用したかったのですが、連絡が来なくて大変残念だったうえに、後々、保健相談所の方たちから、度々「なぜ受けなかったのか？」と問われたことが大変にストレスでした。正確には、産後1ヶ月半ほどした頃、それと思われる電話番号から一度だけ受電しました。しかし、そのときは育児の真っ只中で気がつかなかったこと、また、受電した日が12/26か27(午後)という年末でこちらもバタバタしていたこと、先方も年末で忙しいだろうと思つたこと、また、市区町村から連絡がくるもの(こちらから折り返すのに何と言わなければならない。)だから、年頭にでも再度連絡をもらえるのだろうと思ひ、こちらからは連絡を返しませんでした。しかし、その後連絡は来ず。間もなく産後3ヶ月という頃、母乳トラブルがあり、知人の勧めを受けて保健相談所の母乳相談に連絡したところ、「そもそもなぜ訪問を受けなかったのか？」という話になりました。先方が経緯を確認したところによると、「何度も電話をしたけれど出なかったし、その後ハガキでも通知した」とのことでしたが、まったく身に覚えがありません。確かに、こちらから折り返しの連絡はしませんでした。着信は一度だけなことは確かです(携帯電話なので履歴もわかります)。私もずっと気にしていたので郵便物が届けばわかります。来ていません。結果、3ヶ月検診で併せて対応します、となりました。が、検診当日は、話す人話す人に「なぜ受けなかったんですか？」と聞かれ、その都度経緯を説明し、でも「担当者は何度も連絡した」と言われ、こちらの過失としてしか扱われなかったことが大変不愉快でした。私が訪問を拒否したと記録されているなら心外です。同じマンションに住み、同じ病院で1日後に出産した友人には、産後早々に連絡がきていたそうです。漏れが起きる体制に疑問がありますし、担当者によって虚偽の引き継ぎが行われていることに不信感がありますし、そもそも訪問を受けることが実質必須の事業なら、母親からも連絡をしやすくなるような情報の周知をしてもらいたいです。
- 相談する回数が決まっていることはちょっと残念。
- 相談員の方がもっと親身になってくれれば、相談しやすい。どちらかと言うと、相談員の方が事務的で早く帰りたいそうだった。こちらは出産や育児には不安なことはなかったが、児童館や保育園の情報をもっと知りたかった。
- 相談員の方は心理士など、メンタルの専門領域を学んでいただければもっと良くなるのでは。また訪問後のアンケートがあれば良かった(訪問員に直接渡すのではなく、後日区役所へ郵送などの手段があれば本音を書けるのでは)
- 存在を確認してもらってるといふことで安心。いざという時の相談窓口が出来たといふことで安心でした。
- 存在事態知らなかったの、情報が届くよう工夫してほしい。
- 他の自治体ではどうなっているのかわかりませんが、私のところに来た人は私と同じ町内会のエリアに住んでいる人でした。そんな近所の人に自分のからだのことや育児のことなんて相談したくないです。家もばれているし、私がどんなことを相談したのか他の近所の人に話したりしない保証もないです。もっと遠くの、せめて別の町内会の人に来てもらいたかったです。結果的に精神的にも肉体的にも辛い時期に近所の知らないおばさんが家がありこんで何のためにもならない話をされただけで迷惑でしかありませんでした。
- 他の人の訪問の話を聞いて助産師、保健師によってアドバイスにムラがありすぎると思ひました。講習を受けて統一するべきだともおもいます。
- 他人を家に入れることには抵抗がある。訪問員の方を母親学級や健診等で、紹介されるようなシステムがないかぎり、私のように嫌だと感じる人もいます。

- 体重を測ってくれたり、予防接種のスケジュールを説明してくれたり、母親の気持ちに共感してくれる点で私個人は利用して良かったという思いがありません。やはり知識不足な新米ママには、具体的に悩みや相談に答えられる「助産師」といった経験者・資格者が訪問員に適していると思います。また、個人宅訪問で1対1という形に抵抗がある場合もありますし、1ヶ月健診時に産院の助産師さんとゆっくり話せるような機会を作るような形でもいいのかな？と思いました。訪問員の当たり外れで嫌な思いをされるママもいるのであれば、訪問後にアンケートをとり、問題のある訪問員には指導をするなどの対応も必要かと思いました。
- 体重増加が不安な時期だったので、専門家に相談できて安心できました。
- 滞在は30分くらいが望ましい
- 大人と話がしたくてたまらない時期だったから、ゆっくり話したかった。玄関先で資料を渡して終わりという感じだったので。
- 大都市では看護師、保健師、助産師以外の方も訪問されていると思いますが、母乳の相談、赤ちゃんの体調などはやはり看護職にしか分からない知識があると思うし、一定の水準を満たした対応ができる人を選抜すべき。産後の母親の心の健康や体調が幼い赤ちゃんは最も影響して、その子の未来、家族の未来を変えらると思う。
- 第一子の時は小さいお子さんのいるお母さん、お父さんなど先輩の訪問だったらお話も聞けて面白かったかもしれません。
- 担当の方は来られましたが、子どもは寝ており、大丈夫そうですね～と独り言のように話して帰られました。相談してもいいのか、チェックの来られたのか、何しに来られたのかかわからず、意味のない訪問でした。引越してきたところで地縁も知り合いもなく、途方にくれていましたが、そんなことすら聞かれず、子育て支援情報もチラシを置いていかれただけで、話をした記憶がほとんどありません。1番孤立していてしんどい時期なので、大変さをまずは共感してほしい、ひとりじゃないと、言葉で伝えて欲しいと思います。
- 地域で行われている赤ちゃん教室を教えてください、同じ地域のママたちとのつながりをしてください。
- 地域とつながるきっかけになればいい
- 地域の情報や、産後ケアなどのサービス（無償は嬉しいけど、有償でも選択肢が広がれることがありがたい）情報などがいただけたら嬉しい。その時手元に情報がなくても、どこに行けばわかるか、誰に尋ねればいいのか、という窓口が欲しい。
- 地域密着型で親しみやすい
- 通信を使っの相談などのサービスもあると、片付かないなどの理由で自宅に他人をあげたくないママにも優しいのではと思います。(*´ω`*) 是非、産後不安定なママの目線に合わせたサービス事業の展開をしていただければと思います。
- 田舎では、役所の方が家族の知り合いということがよくある。家族への悩みや不満等を話したくても話せない。知り合い希望か、知り合いではない方がいいか確認してほしい。私の地域は、保健師から電話がくるのを待つ形だった。こちらから利用したいと言ってもよかったのか、あらかじめ知りたかった。身長、体重も測ってくれるのはありがたい。
- 同じ境遇のママの集まりなど教えてほしい
- 特にストレスも、疑問も感じていないつもりでしたが、来ていただいた方と話をしているうちに、ここ疑問に思っていたんだ...とか、会話を通して自然と感じ、解決し、凄くありがたかった思い出があります。マニュアルではない、こういう対応をみんながしてくださってれば、色々な方の孤独感やストレスが少なくなるんじゃないかな...と、そんな気がします。
- 特になし。成長段階もそんなに焦らなくてもその子のペースがあるし、今となっては来なくても良かったなあと思っています。
- 特に改善してほしいところはありません。我が家は初産が双子（2500g&2200g→退院時は2500g&2100g）、実母他界のため里帰りなし、産後1週間で母子3人全員が退院という、比較的ハードな育児状況でした。夫は協力的でしたが、育児経験者やプロに相談や確認できない環境はとてもプレッシャーで、訪問して下さった助産師さんにはとても感謝しています。また、私が産後うつ危険性があるということを保健センターにきちんと報告して下さったようで、その後は地域担当の保健師さんが訪問や電話でケアくださり、とても心強く安心できました。同じように育児にプレッシャーを感じて孤独に追い詰められているママたちに、こういう頼もしい味方がいることが伝わると嬉しいです。
- 特に不満も嬉しいことありませんが、おもちゃをもらえること、身長体重を計ってもらえ、成長具合を確認出来たことがよかったです。また、地域の子育て情報などを教えてもらえたことがよかったです。

- 特定の思想を押し付けるような人は訪問してほしくない。特にアンチワクチンや非科学的な母乳指導(無意味な食事制限等)をするような人が訪問員になると、害にしかならないと思う。
- 突然、知らない保健師さんが来て、あーだこーだ言って帰る。怖い。 それなら、妊婦の時から、この地域はこの方達と決め、ずっと寄り添って見て欲しい。 と思います。
- 突然知らないおばちゃんが二人来て喋って帰ったという感じでした。布団もひきっぱなしで来客を迎える体制ではなく 帰られた後疲れていました。
- 内容や必要性をもっと詳しく公表して欲しい
- ニヶ月未満でも目一杯大変で、いつきてもらっても大変は大変なんですけど、24時間の電話相談やメール相談とかはあったらいいなと思います。夜中寝なくて、母も眠いしつらいときとか話して聞いてもらえたら孤独感減るだろうと思います。それで面談が必要であれば日時設定して訪問など。 訪問必要ないのであれば無しまたは簡易訪問でいいと思う。 私の地域では体重計持ってきてくれたので授乳前後で計って、母乳の量をはかってくれました。病院ではできていたけど、自宅では出来なかったのでもらえて嬉しかったです。
- 二人目のときは、新米さんでしたが私の気持ちに寄り添ってくれる方でしたから、お願いして良かったなと思いました。最初の方はベテランでしたが、物言いに萎縮してしまうくらい厳しい言葉を言われた記憶があります。育児の疑問を投げ掛けることもできませんでした。 産後の不安な気持ちやイライラをきちんと理解し学んでほしいです。 今後の育児ママの為にも、ぜひママの気持ちに寄り添った対応を、希望します。
- 乳児医療の専門知識を持った方が担当するべきかと思います。
- 乳児全戸訪問する意味や、当日の流れ、相談したい事の有無等事前にプリントでもいいのであるといいなと思う。 4人、4回とも来てもらいましたが、産後出かけられないモグラ生活の中、話し相手、なんでも聞ける相手、色々教えてくれる、我が家の場合2・3・4人目の訪問者さんが一緒だった事もあって、本当に来てもらえてうれしかったですし、楽しい時間でした。 みんながそんな時間を過ごせればいいのに。
- 乳幼児や産後のお母さんについて、知識のない民生委員さんだと、間違った知識を提供したり、ハイリスクとして病院や自治体にフォローが繋がらなかつたりします。元保健師や保育士さんでも、昔の知識情報のみで、対応されて、お母さん達が混乱したり傷ついたりしている場合も少なくないようです。 訪問事業に携わる方は、必須で、最新の情報を含めた研修やOJTを導入して頂きたいです。更にドゥーラの知識もあれば、より寄り添ったケアができると思います。
- 妊娠中からの出産準備、学びの場でこの事業のことを知れるようになっていればと思います。 大変な時期を過ぎた後にこういうものがあつたと知るのには残念すぎるので。
- 悩みなどを積極的に聞いて欲しかった
- 悩みに対して、具体的な対処策を教えてくれた。きちんと知識を持っていないと、具体的な回答はできないと思うので、子どもについて知識を持っている人に訪問してきて欲しい。
- 悩みを抱えてる時期に話せるのはいいことだけれど、その場限りで相性も人それぞれ。私は、担当者が共感してくれるタイプでよかった。愚痴を聞いて貰えた。その時の自分の思い込みが正しかったわけでもないが、当時正論で否定されていたら、傷ついた。客観的にみられるようになって、そのことに気づくには時間がかかった。
- 悩み相談などしやすかったので、広めていっていただきたい
- 必要最低限の相談のみでいいと思います。
- 病院の一月検診が近いときに来てあまり意味がない。 二人目、三人目は正直、要らないと思います。
- 不安や寝不足な毎日であつ、家に一人きりな状態だったりも続くので、共感してもらえたら安心に繋がると思います。 外に出にくいので、一緒に外に出て歩きながらお話...とかでも気分的に違ってくるような気がします。
- 不安や心配ごとに対するあたたかな言葉やアドバイス、またこれから親子で行ける場所の紹介や、地域での集まりが用意されていてそちらへの誘導があればいい。ママが孤独を感じず、これからの子育てに楽しみを見つけられるように、その橋渡しの役割を担う事業なら広がってほしい。
- 不安や心配はないですか？って、聞かれてもなかなか初対面では言い出しにくいです。 それに、何か質問しても的確な回答はなく・・・ 身長と体重が増えているかの確認をするのみの事業なので、それだけの目的なら、今のままで致し方ないかなあと思います。

- 不安を安心に変えてくれるといいですね
- 福岡市は助産師さんが訪問するのでおっぱいの状態や授乳のこと、体重のことをもっと詳しく見てくれるらしいと聞いていたがそれはなかった。不満ではなかったが全体的に物足りなかった。
- 複数回あっても良いのにとおもいます。育児の悩みは次々に変わりますから。相談できる人がいるってとても安心します。
- 兵庫県内でも地域によって全然違う。上二人は里帰りして豊岡市で訪問していただいた。体重を計ったり、母乳の出方を見ていただいたり、サポートの案内とかじっくり話をしていただいた。三人目の尼崎市では、人当たりのよい方でしたが、世間話をしにこられた感じで役には立ちませんでした。
- 変な助産師が、来なければいいのに。開業助産師がこうあるべきを押し付けて、自分の講座などの勧誘をして鬱状態に追い込まれた友人がいます。真っ当な方もいるのを知ってます。
- 保育士さんの訪問も歓迎します。助産師
- 保健師さんが、来て下さると良いのとおもいました。子供の発育など、客観的にわかる方だと安心できると思います。民生委員の方だけだと、産後ホルモンバランスが悪い中の訪問なので、近所の知らないおばさんが赤ちゃん見にやってきた感がとても強かったです。
- 保健師さんがいらして、体重身長等計測して下さったりしたので、1ヶ月健診を兼ねた事業だと思ってました。今回のアンケートの経緯を読んで、地域によって違いがあることを知り、また心無い対応があったりすることにビックリしました。全ての親子さんが安心して利用できる事業となることを願っています。
- 保健師さんだったので、色々相談することができたし、安心できた。選択制だということは知らずに、訪問前提で日程を決められたので、もう少し案内を通してほしかった。
- 保健師さんではなく、助産師さんだといいなとおもいました。
- 保健師は来なくていい。保健師は病院勤務してないから、だれもがわかることしか説明出来ない保健師にしかあったことしかない。せめて助産師か看護師希望。
- 保健師や助産師など知識のある人へのみ訪問して欲しい、全国的にそうだと思っていたので驚いている
- 保健所の同月齢ママの集まりや楽な抱き方を教えてもらえてよかったので、ママ初心者へのお役立ち情報など統一して教えてもらえるとありがたい。(資料ではもらっても産後余裕がなくて見ていないので)
- 母の気持ちに寄り添う事業
- 母子2人っきりで過ごす家庭には、何回か来てもらえるとありがたい
- 母親を労う、認める、休ませる事業であってほしい。
- 母乳が出やすくなる方法やマッサージなどをしてくれたり、ママが辛いと思ってることに寄り添ってくれるものだったら、産後の不安定なときにいるママが救われるとおもいます。
- 訪問があった時期、授乳がうまくいっておらず多少悩んでいたが自分なりに試行錯誤しながら改善の努力をしていた。訪問員がいる間に赤子が泣いたら「どうぞ授乳して落ち着かせてあげて下さい」と言われた。授乳がうまくいっていないので母乳で落ち着くことはないし、授乳の練習やミルクの調乳があるので時間がかかるし指導してもらうつもりもなかったので先に訪問を終わらせたく思い、授乳を断った。しかし訪問員は「やって下さい」の一点張り、そして「私もそんなに詳しくないけど見ればアドバイスできるかもしれない」と言う。私はそんなに詳しくないならアドバイスなどしないで欲しかったが訪問員がしつこく授乳しろと言うので仕方なく授乳した。はじめたときは見ているだけだったが途中で突然手を出してきて私の乳房をつかんで授乳の補助をしようとした。産後入院中、助産師の強引な授乳介助で赤子が嫌がり激しく泣いた事があったことを思い出しすぐにやめて下さいと言ったが両手でしっかり赤子を抱いてる姿勢で抵抗できず、結局私は乳房を引っ張られて痛いし赤子もいつも以上に泣いてしまって、私が半ば怒鳴るような言い方をしてやめてもらった。私は介助が嫌な理由を話し自己努力でやっていくつもりでいることも話して、訪問員からはすぐに謝罪を貰ったがとても嫌な思いをした。第二子以降が生まれても利用したくない。第一子は低出生体重児だったので、産院から役所に連絡をしなければならぬと説明を受けて同意書にサインをしたが、結果がこれならする必要はなかったしするべきではなかったと感じている。

- 訪問が必要な人もいるので、いいと思う。
- 訪問される方が全て助産師さんならいいのになと思います。民生委員さんがきたところで、相談してもその答えが得られるのかわからないし、それならわざわざ家に知らない人を招き入れたくありません。
- 訪問される方が大変な場合もあるので、気分転換がてら気兼ねなく外で話を聞いてくれるような感じにして欲しい。
- 訪問して下さる方を、ママ側が選ぶ事が出来ると良いと思う。訪問員のプロフィールが有ったりすると安心出来ると思う。いきなり知らない人が家に訪ねて来られて、産後で家の中の片付けをするのも大変だし、訪問が必要か否かも選ばせて欲しい。
- 訪問する時期を、もう少し広い期間で考えてほしい
- 訪問する方が持っている情報が古いと思います。もっと柔軟に対応してほしいと思います。
- 訪問とあったが、ただアンケートを回収して世間話をして終わったので、ただの情報収集としか感じなかった。必要性を感じませんでした。
- 訪問を希望するかしないか意思表示できたらよかった。母子手帳交付のときに訪問してもいいか聞かれた。希望しないという選択肢があることを教えてほしい。民生委員さんが男性なのはいいが、こういう訪問は女性がいいと思った。訪問が必要ないと思っていたので、玄関先で簡単に終わってよかったが、これなら電話訪問で十分だと思った。
- 訪問を断っているのにわざわざ実家に電話してきて訪問しようと促すのはやめてください。若いからって偏見を持たないで欲しい。すごくショックでした。
- 訪問員が民生委員もいることを知って、驚いた。助産師さん、保健師さん、保育士さんなど専門職のうち、現場での勤務経験がある人、など絞った方が良いと思う。
- 訪問事業のことは産前から知っていたが、無神経な発言等で母親にストレスを与えるケースもあると聞いていたので、来てもらうまでは正直嫌だと感じていた。しかし実際に来てもらうと「母親の気持ちに寄り添う」というスタンスで、色々話を聞いてもらえてとても良かった。自分が訪問に来てもらったのはちょうど母乳のことで悩んでいた時期だったが、保健師さんの言葉で育児に自信が持てるようになった。自分のように悪評を目にして訪問を避けることは勿体無いと思うので、誰もが安心して来てもらえるよう悪い部分は改善してほしい。自分がもし新生児訪問の時に心無い言葉を掛けられていたら、きっと物凄く傷ついただろうと思う。
- 訪問事業は、産後1か月と設定されていて、里帰りする私には向きませんでした。しかし、里帰りを終えた後がとても辛かったので、期間を半年までにするなど、柔軟に対応して欲しかったです。
- 訪問自体は非常に良いものだと思うが、実質的に助けになったかと言われると微妙なところである。現に大変だったなと振り返ることのできる2人目の産後の時、質問に全て素直に答えたところ、たぶん産後うつ症状に当てはまってしまったんだろう。大丈夫ですか？周りに助けてくれる方はいますか？と言われ、この通りだと通院をお勧めする、みたいに言われ、助けてくれる人はいますか？それなら大丈夫です。と、結局、よくわからないまま終わった。たぶん、良くない状態→専門機関しかプランがなく、本当に必要な産後婦の相談機関や行政のプランがないのが問題ではないかと思った。多くの産後のママにとって、いきなり病院ではなく身近で、でも、しっかりとサポートしてくれるサービスが必要だと思う。
- 忙しい方のように身長・体重・股関節の動きなど発達のチェックと市の取り組みの説明をして30分ほどで帰って行きました。特に新しい情報は得られなかったので残念でした。有資格者が来てくれるのは安心ですが、時間に余裕のある方に来てもらえたら色々相談出来たのになと思います。また、カウンセリングの講習なども受けてもらえたら良いなと思います。こちらの話はあまり聞かず、自分の孫の話をされても参考になりませんでした。
- 忙しくて無理なのかもしれないが、夫以外の大人と会ったのが久々だったので、もう少し会話がしたかった。楽な子だったので悩みらしい悩みがなく、そのせいですぐに帰ってしまって少し寂しかった
- 本当に欲だけ言えば、1時間でも託児を兼ねていたら嬉しいなあとと思います。

- 本当に来てくれて心強かったです。訪問から6年が経ちましたが、今でも感謝しています。ありがとうございました。
- 毎日家に居るので気晴らしにはなるとは思うし、疑問に思うところは聞けるだろうけど、知らない人が急に来るので、気も使うし信用できるのかと思うと聞けない所もある。掃除したりしないといけないし少し疲れる所もある。
- 民生委員が来てても何の相談もできず意味がない。来るなら助産師が来て、授乳についてや育児について話を聞いてもらえたりするほうがいい。保健師がきたが、ネットで調べればわかるような話しかされなかった。
- 無し
- 無愛想な態度で、事務的だったため、もっと笑顔で寄り添った対応なら、相談もしやすいのではと思います。そうでなければこの事業をやる意味がないのではと思います。
- 目的が明確だと利用しやすいかなと思いました。また、産後によくわからない人が来るということが不安だったのと、来てもらってなにか効果みたいなものをあまり感じられなかったのが残念でした。
- 予定の日の2時間前に連絡がきて、ご家族がインフルだから日を変えと欲しいと。出産まもない中、幼稚園の送迎、買い物など都合をつけながらしていたのに2時間前に行けません、しかも当たり前のような感じで軽くごめんなさいと言われただけですごくストレスを感じました。掃除もままならないなか、他人が自宅に入るため、それなりに掃除もしたり気を使うし、だからといって、体重身長をはかり、ききたいこともあやふやな回答。疲れただけでなんのためにやるのかわかりませんでした。来れないなら他の方をよこすなど対応はあったはず。連絡も訪問者個人の携帯からきたのも不信感いっぱいでした。
- 予防接種が集団から病院で各個人でうける様になってきました。1か月検診後、3か月BCGの集団接種でやっと外出することもあったかも知れません。集団接種の待合の時に絵本の読み聞かせをしてもらったり、保健師さん係りの方、ボランティアさん と何かと声をかけてもらいました。自宅にいる大人(旦那・父母など)以外の人とのコミュニケーションが産後ママの心や気持ちを和らげてくれると思います。病院で問診してと決まった事の事の受け答えで終わる予防接種よりも集団接種の方が産後うつを減らす一つの方法かもと思います。集団接種 復活希望!! こんにちはか赤ちゃん事業について。産後直ぐに家に来てもらうのは片づけや化粧してないと・・・と何かとめんどくさい。自分が出かけられる場所でも。地域のママさん団体と協力して6か月のママ達が来れる場所を作る。ビデオ電話、スカイプやズームなど家にいても赤ちゃん事業が受けられるといいな。
- 様々なご家庭があると思います。それぞれのニーズに合わせた柔軟な対応のできる訪問員の育成を望みます。近くの市は保健師が訪問と聞いています。わたしはそちらの方が良いなと思いましたが...母乳に関する部分は助産師間で流派もあるので、それを押し付けられるように感じる方は不満足かもしれません。
- 様々な意見もあるかと思うけど、しばらく家から出れずにいる時期だし、子育てを分かっている他人である職員さんに身内には言えない愚痴を言えたり相談できるきっかけがあるのは良いのかも...とは思いますが。私も久々に主人や家族以外の大人と直接会話をしたなあと思ったので。行き詰まる時期でもあるので、この事業はあっても良いと思います。
- 来てくれた方が若すぎて、説得力がなく、とても相談できそうになかった。知識だけではなく育児経験があるの方が安心できる。最近は出産年齢も色々なので、訪問先のお母さんの年齢に合った歳の方に来ていただけたら嬉しいです。
- 来てくれる人が、近所の同世代の、乳幼児をもつママとかだったら嬉しいと思う。1人目の産後、近所にママの知り合いをつくるきっかけも気力もなくて孤立したのがとても辛かったので、この事業がママ友ができるきっかけになったらいいなと。産後すぐにほしかったのは、専門家とか年配の先輩ママの上から目線のアドバイスではなく、今の辛さに共感してくれる仲間だと感じた。
- 来てくれる人が潜在保育士などの育児のプロの人で近い時期に出産育児経験がある人。また困ったら気軽に相談出来るようなそんな場所があったらいいのに。
- 来て欲しい人材、職種、好きな時期を選びたい。自分が保育士や幼稚園教諭、看護師の資格があるのに、似たような人が来てても意味無い。しかも疲れる時に1分でも1秒でも寝たい時に来るなー!!って思う。

- 来るまでどんな人が来るのか分からなくて不安だった。 家に子どもと2人の時に知らない人が来るのは抵抗があった。
- 利用したいかといわれても、どういう趣旨から始まったのかわからないので、なんとも言えません。 助産師さんの訪問はありましたが、二人の子どもとも、同じかたがいらして懐かしかったり、小児科を教えていただいたり、親切にさせていただけて心強かったです。
- 利用してはいないですが、疲れて自分も部屋も見せれない状態だと思うので、そんな不安を払拭出来たらいいですね
- 利用する気はなかったが、電話で連絡がありいつなら大丈夫かきかれました。利用したい人だけが利用出来ればいいのと思いました。
- 里帰り出産で希望していた助産院で出産することがかなわなかったが、その助産師さんに訪問していただき、はっきり覚えていませんが温かい言葉をかけていただいた記憶があります。よい助産師さんに出会うこと、地域に知り合いができること産後のお母さんにはたいへん必要な機会だと思います。もちろん訪問して下さる方の人間性はとても大切なことです。。。
- 里帰り先でも、自宅でも両方制度を利用できたらいいのと思います。里帰り中も疑問や不安はあるし、帰宅後は地域の情報が欲しいと感じた。
- 里帰り先の自治体でも、家庭訪問があったら嬉しいなと思いました。 母親の女性は話し相手が欲しいと思うので、妊娠の時期から赤ちゃん訪問と同じ担当の方が事前訪問して欲しいとも思いました。
- 例えば、出産育児中の母に変わって掃除洗濯などの家事をしてくれる、子どもの面倒を見てくれる、散歩に一緒に出かけて話を聞いてくれる、など母親を精神的に肉体的に助けてくれる内容なら、利用したいです